

近畿厚生局長 殿

京都大学医学部附属病院

病院長 三嶋 理晃



京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	260人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	562人	139.9人	701.9人	看護補助者	66人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	24人	1.2人	25.2人	理学療法士	25人	臨床検査技師	84人
薬剤師	79人	1人	80人	作業療法士	10人	臨床衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	10人	その他	0人
助産師	29人	0人	29人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	962人	32.7人	994.7人	臨床工学技士	23人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	0人	1.8人	1.8人	栄養士	0人	その他の技術員	138人
歯科衛生士	5人	3人	8人	歯科技工士	3人	事務職員	320人
管理栄養士	15人	0.7人	15.7人	診療放射線技師	64人	その他の職員	128人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	905.0人	17.4人	922.4人
1日当たり平均外来患者数	2,686.5人	107.6人	2,794.1人
1日当たり平均調剤数	1,779.08剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	1人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	6人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	3人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	0人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する脳死ドナーからの小腸移植	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
生体内吸収性高分子担体を用いた塩基性線維芽細胞増殖因子による血管新生療法	0人
脂肪委縮症に対するレプチン補充療法	30人
重症低血糖発作に伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作に伴うインスリン依存性糖尿病	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	28人
神経症状を呈する脳放射線に対する核医学診断及びベバシズマブ静脈内投与療法	5人
ペムレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	デュアル生体インピーダンス法による腹腔内脂肪測定	取扱患者数	45人
当該医療技術の概要 デュアル生体インピーダンス法は、四肢電極と腹部電極から得られる2つの異なるインピーダンス情報と腹部縦幅および横幅から腹腔内脂肪蓄積量を算出する方法である。			
医療技術名	生体吸収性ステント留置術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 BVS (Bioresorbable Vascular Scaffold) とは現在経皮的冠動脈インターベンション (PCI) で使用されている金属ステントのプラットフォームが金属ではなく、生体吸収性のPLA (Poly-lactide) で作られたもので、約2年で加水分解により完全に生体吸収される新たな医療機器である。			
医療技術名	大動脈瘤ステントグラフト	取扱患者数	72人
当該医療技術の概要 大動脈瘤ステントグラフトとは、人工血管 (グラフト) に金網 (ステント) を合わせたものであり、大動脈瘤の内側にステントグラフトを挿入・留置し、瘤内の血流を遮断し破裂を予防することを目的とした低侵襲な治療法である。			
医療技術名	心房細動アブレーション	取扱患者数	200人
当該医療技術の概要 カテーテルアブレーションにより、肺静脈の周囲を焼灼して (肺静脈隔離)、心房細動を根治する治療で、3次元CTと3次元マッピング装置 (CARTO) を組み合わせて行う。			
医療技術名	HBV陽性肝移植レシビエントならびにHBc抗体陽性ドナーからの肝移植後患者に対するHBVワクチン治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 HBV陽性患者に移植をする、あるいはHBc抗体陽性ドナーから移植を受けると、高率に術後HBV肝炎が生じるために、これを予防する目的で移植後患者にHBVワクチンを投与する。			
医療技術名	難治性消化管狭窄に対する切開法 (Radial incision and cutting)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 早期食道癌患者に対するESD、あるいは進行食道癌に対する放射線治療後に食道狭窄をしばしば来すが、これに対して、狭窄部を内視鏡的に切除する治療法。			
医療技術名	頭頸部表在癌に対する経口的内視鏡切除術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 頭頸部癌は早期ガンであっても今まで手術が行われていたが、これを全身麻酔下に内視鏡的に切除する治療法。			
医療技術名	慢性B型肝炎に対するHBVワクチン療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 慢性B型肝炎については、高ウイルス療法はあるものの、ウイルス除去は不可能である。また抗ウイルス療法は一生継続する必要がある。このため、ワクチンを使用することによって、抗ウイルス療法の終焉を期待する治療法。			
医療技術名	RNA免疫沈降法による自己抗体の解析	取扱患者数	1000人
当該医療技術の概要 RNA免疫沈降法によってRNA結合蛋白に対する自己抗体が同定される。本技術により、炎症性筋疾患の予後予測や病型分類に役立つ。全国で数か所しかルーチンで行っていない技術である。			
医療技術名	蛋白免疫沈降法による自己抗体の解析	取扱患者数	200人
当該医療技術の概要 蛋白免疫沈降法によって細胞内蛋白に対する自己抗体が同定される。本技術により、炎症性筋疾患の予後予測や病型分類に役立つ。全国で数か所しかルーチンで行っていない技術である。			
医療技術名	一酸化炭素中毒患者に対する高圧酸素療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 近隣の救命救急センターより転院搬送を受け、実施している。			
医療技術名	家族性パーキンソン病の遺伝子診断	取扱患者数	2人

当該医療技術の概要			
パーキンソン病では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性てんかんの遺伝子診断	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要			
てんかんでは遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性脊髄小脳変性症の遺伝子診断	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
脊髄小脳変性症では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性運動ニューロン疾患の遺伝子診断	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
運動ニューロン疾患では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	脳波・機能的MRI同時計測によるてんかん病態の診断	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要			
薬剤抵抗性てんかんにおいて、てんかん外科の術前評価として、長時間ビデオ脳波モニタリング、各種非侵襲的脳機能マッピング(脳磁図、機能的MRI)による診断を行っている。			
医療技術名	新規光線力学療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
食道癌化学放射線療法後の局所遺残再発例に対するME2906 およびPNL6405EPG を用いた光線力学的療法の多施設共同臨床第II 相試験。			
医療技術名	循環血液中血管内皮細胞(CEC)による治療効果モニタリング	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
循環血液中血管内皮細胞(CEC)数の経時的な変化を、乳癌に対する化学療法、ホルモン療法のモニタリングに応用する。			
医療技術名	循環血液中腫瘍細胞(CTC)による治療効果予測、モニタリング	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要			
乳癌に対する術前化学療法中に、循環血液中腫瘍細胞(CTC)を経時的に測定し、治療効果予測、モニタリングへ応用する。			
医療技術名	数理モデルを用いた病態予測技術	取扱患者数	70人
当該医療技術の概要			
原発性乳癌患者を対象に治療を開始する前の臨床病理学的情報を用いて腋窩リンパ節転移の有無を予測するwebツール。			
医療技術名	数理モデルを用いた治療効果予測技術	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要			
原発性乳癌患者を対象に治療を開始する前の臨床病理学的情報を用いて術前化学療法の病理学的治療効果を予測するwebツール。			
医療技術名	生体肝移植	取扱患者数	39人
当該医療技術の概要			
生体ドナーから肝臓の外科区域、左葉、あるいは右葉を用いて行う肝移植。脳死肝移植が発展しないわが国を中心に発展してきた。			
医療技術名	脳死肝移植	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
脳死ドナーからの肝臓を用いる肝移植。1999年からわが国で始まった。生体肝移植の経験を生かして、肝臓を分割して2人のレシピエントに移植を行う分割肝移植も発展している。			

医療技術名	声帯再生手術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 従来治療法になかった声帯癒痕、溝に対し、再生医療を用いた声帯再生術を施行している。			
医療技術名	Endoscopic laryngo-pharyngeal surgery	取扱患者数	75人
当該医療技術の概要 内視鏡技術の発達により新たに発見されるようになった咽喉頭表在癌を経口的に切除する低侵襲手術である。			
医療技術名	経側頭骨頭蓋底外科手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 側頭骨頭蓋底に生じた病変を、広範に側頭骨を削開することにより脳実質の圧排を行わずに手術する。神経モニタ、ナビゲーションを組み合わせて患者の負担を最小限にする。			
医療技術名	内視鏡下経鼻頭蓋底腫瘍摘出術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 前頭蓋底に生じた腫瘍性病変を内視鏡下経鼻アプローチにて摘出する低侵襲手術である。			
医療技術名	修正型電気けいれん療法	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 重症あるいは薬物治療抵抗性の気分障害、緊張病状態に有効性の高い身体治療で、麻酔科医協力の下、日帰り手術室で全身麻酔下に行われる。			
医療技術名	薬物治療抵抗性統合失調症患者に対するクロザピン治療	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 複数の抗精神病薬に反応が乏しい重症の統合失調症患者を対象に、副作用モニタリングを行いながら非定型抗精神病薬のクロザピンによる薬物療を行う。			
医療技術名	早期肺癌および肝癌に対する動体追尾定位放射線治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 肺癌や肝癌の呼吸性移動に合わせて放射線治療ビームの方向を変えることで、常に照射野を癌に限局した状態で行う放射線治療。従来の治療法と比較して、癌病巣への線量を損なうことなく、正常肺または肝臓の線量を約20%低減することが可能となった。			
医療技術名	覚醒下手術	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 てんかん、脳腫瘍の手術で術中に覚醒し、神経機能、脳波検査を実施する。			
医療技術名	functiona MRI	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 MRIを用いて脳機能マッピングを行い、摘出可能領域を決定する。			
医療技術名	和田テスト	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 頰動脈よりプロポフォールを投与し、脳機能を解析する。			
医療技術名	慢性硬膜下電極留置	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 硬膜下電極を留置し、脳機能、てんかん焦点を解析する。			
医療技術名	内視鏡下腫瘍摘出術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 内視鏡単独での腫瘍摘出術。			

医療技術名	巨大動脈瘤に対する血流改変治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 クリッピングが不可能な巨大脳動脈瘤に対する血流改変により、血栓化、縮小を得る治療。			
医療技術名	特定疾患ウイリス動脈輪閉塞症に対する外科的治療	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 特定疾患ウイリス動脈輪閉塞症に対する直接バイパスを用いた治療。			
医療技術名	脳磁図を用いた脳機能局在の解析	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 脳磁図を用いた脳機能局在、てんかん焦点の術前評価。			
医療技術名	拡張型心筋症または虚血性心筋症による重症心不全に対する左室形成術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 重度の心不全を伴った心筋症に対し、僧帽弁形成術と左室形成術を合併施行することによりこれまでは治療困難であった患者さんのQOLを改善させることが可能である。			
医療技術名	閉塞性肥大型心筋症に対する心室中隔心筋切除術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 薬物治療に抵抗性の閉塞性肥大型心筋症患者に対して、外科的に肥大心筋を切除する術式により症状と生命予後の改善が期待できる。			
医療技術名	胸部大動脈瘤・腹部大動脈瘤に対するステント留置術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 胸部大動脈瘤や腹部大動脈瘤に対する治療としては従来、開胸または回復による人工血管置換術が一般的であったがハイリスク患者に対し、より低侵襲な血管内治療であるステント留置術による治療が可能となった。			
医療技術名	収縮性心膜炎に対する広範囲心膜切除術(ワッフル手術)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 収縮性心膜炎は内科的治療に抵抗性であり、外科的心膜切除の適応となることが多い。通常的心外膜切除では解除しきれない心臓表面の臓側心膜をワッフル状に切除・切開することにより拡張能を改善させる術式であり、有効である。			
医療技術名	末期重症心不全に対する補助人工心臓の植え込み	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 あらゆる内科的治療や外科的治療でも効果がない末期重症心不全患者に対しては心臓移植が唯一の治療法であるが、本邦ではドナー数の制限から補助人工心臓を移植までの橋渡しの治療として使用せざるを得ない状況である。			
医療技術名	疾患の原因特定につながる遺伝子検査および遺伝カウンセリング	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 現在、様々な疾患について、原因遺伝子が特定されつつあるが、生殖細胞系列の異常である場合は、その遺伝形式や家族への影響につき、有資格者(臨床遺伝専門医および認定遺伝カウンセラー)による十分なカウンセリングが必要であり、これを提供している。			
医療技術名	薬物動態に関わる遺伝子の多型解析	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 タクロリムスなどの体内動態を予測するため、患者の血液からDNAを精製し、遺伝子型を判定する。			
医療技術名	保険算定外の薬物血中濃度測定	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 シロリムス、イトラコナゾール、経口分子標的抗がん薬など、治療上必要であるが保険算定外の薬物について、血中濃度測定および解析を行う。			
医療技術名	関節超音波検査	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 リウマチ性疾患患者の早期診断、治療導入判定、治療効果判定に用いる。四肢関節を高周波リニアプローブを用いてB-modeおよびpower dopplerで活動性滑膜炎の程度、骨びらんの有無、腱鞘炎の程度、腱断裂等の判定を行う。			

医療技術名	ロボット支援下腎部分切除術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
ダヴィンチSサージカルシステムを使ったロボット支援下腎部分切除術。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	124人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	77人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	103人	・原発性胆汁性肝硬変	95人
・全身性エリテマトーデス	540人	・重症急性膵炎	4人
・スモン	5人	・特発性大腿骨頭壊死症	69人
・再生不良性貧血	55人	・混合性結合組織病	64人
・サルコイドーシス	158人	・原発性免疫不全症候群	16人
・筋萎縮性側索硬化症	38人	・特発性間質性肺炎	104人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	371人	・網膜色素変性症	186人
・特発性血小板減少性紫斑病	52人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	66人	・肺動脈性肺高血圧症	29人
・潰瘍性大腸炎	255人	・神経線維腫症	34人
・大動脈炎症候群	101人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	26人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	13人
・天疱瘡	29人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	12人
・脊髄小脳変性症	49人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	170人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	26人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	55人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	200人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	13人
・後縦靭帯骨化症	48人	・肥大型心筋症	6人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	196人	・ミトコンドリア病	7人
・ウェゲナー肉芽腫症	16人	・リンパ管筋腫症(LAM)	21人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	92人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	33人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	130人
	28		2,902人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

830人
3,732人

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	・
・強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。)に係るものに限る。)	・
・腋窩リンパ節郭清術実施前におけるセンチネルリンパ節の同定及び生検(触診及び画像診断の結果、腋窩リンパ節への転移が認められない乳がんに係るものであって、色素を用いて行うものに限る。)	・
・インプラント義歯	・
・顎顔面補綴	・
・先天性難聴の遺伝子診断(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関)	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	検査部門; 毎日 病理診断部門; 毎日
剖 検 の 状 況	剖検症例数 39 例 / 剖検率 10.6%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
APOBEC3の生体内における機能とHIV-1感染病態に及ぼす影響の解明	高折 晃史	血液・腫瘍内科	4,290,000	補委 文部科学省
樹状細胞における小胞機能のコントロールによる免疫制御法の開発	門脇 則光	血液・腫瘍内科	1,300,000	補委 文部科学省
鉄代謝制御因子ヘプシジンの発現制御機構の解明	川端 浩	血液・腫瘍内科	1,170,000	補委 文部科学省
RNAヘリケースMOV10によるNFκBの負の制御の解析	小林 正行	血液・腫瘍内科	5,070,000	補委 文部科学省
好中球細胞外トラップの分子機構並びにその感染・炎症病態における役割の解明	山下 浩平	血液・腫瘍内科	5,200,000	補委 文部科学省
マントル細胞リンパ腫モデルマウスを用いた腫瘍クロンの階層性と微小免疫環境の解明	錦織 桃子	血液・腫瘍内科	5,330,000	補委 文部科学省
次世代シーケンサーを用いた成人T細胞白血病の網羅的な遺伝子解析	菱澤 方勝	血液・腫瘍内科	5,460,000	補委 文部科学省
形質細胞様樹状細胞のエンドソーム時空間的制御に関する新規分子の網羅的探索と同定	北脇 年雄	血液・腫瘍内科	4,290,000	補委 文部科学省
ヌクレオフォスミン関連融合遺伝子からアプローチする新規白血病化機構の解明	河原 真大	血液・腫瘍内科	4,290,000	補委 文部科学省
網羅的遺伝子解析を用いたヒトiPS細胞の血液細胞分化誘導における重要な因子の同定	西澤 正俊	血液・腫瘍内科	1,000,000	補委 文部科学省
ヒトDCによる寛容誘導機構の解明、粘膜帰巢および寛容誘導特性を備えたヒトDC培養技術の確立	門脇 則光	血液・腫瘍内科	3,900,000	補委 (独) 科学技術振興機構
樹状細胞によるインターフェロン-α産生を抑制するキナーゼ阻害薬の標的の同定	門脇 則光	血液・腫瘍内科	546,000	補委 (独) 科学技術振興機構
HIV-1 Vif を標的とした新規抗ウイルス薬の開発	新堂 啓祐	血液・腫瘍内科	650,000	補委 (独) 科学技術振興機構
心不全発症における転写・エピゲノム調節経路の解明とそれに基づく新規治療法の探索	桑原 宏一郎	内分泌・代謝内科	6,110,000	補委 文部科学省
腎・代謝・免疫調節因子としてのNGALの病態生理的意義の解明	森 潔	内分泌・代謝内科	5,070,000	補委 文部科学省
全身性脂肪萎縮症原因遺伝子産物セイピンの多彩な生理作用の解明	海老原 健	内分泌・代謝内科	6,760,000	補委 文部科学省
酸化ストレス感受性カルシウムチャネルTRPM2の心不全発症における意義の解明	中川 靖章	内分泌・代謝内科	1,300,000	補委 文部科学省
腹膜透析における新規バイオマーカーの開発と分子機序の解明	笠原 正登	内分泌・代謝内科	1,300,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
疾患特異的人工多能性幹細胞を用いた骨系統疾患へのCNP有効性評価システムの構築	三浦 晶子	内分泌・代謝内科	910,000	補委 文部科学省
循環調節ペプチドー脳性利尿ペプチド、アドレノメデュリンーの展開研究	錦見 俊雄	内分泌・代謝内科	5,070,000	補委 文部科学省
CTGFを標的とした新規腎疾患治療の探索	横井 秀基	内分泌・代謝内科	5,330,000	補委 文部科学省
メタボリック症候群関連腎症の発症・進展における内分泌因子の意義	向山 政志	内分泌・代謝内科	5,200,000	補委 文部科学省
患者由来iPS細胞を用いた糖尿病の遺伝・病態解明と再生治療	藤倉 純二	内分泌・代謝内科	5,200,000	補委 文部科学省
レプチン抵抗性における細胞内シグナル異常の解明及び抗肥満薬スクリーニング系の開発	孫 徹	内分泌・代謝内科	5,200,000	補委 文部科学省
心不全発症・進展における新規治療標的としてのTRPC6/3の意義の解明	木下 秀之	内分泌・代謝内科	5,330,000	補委 文部科学省
脂質の消化・吸収・蓄積を調節する新規統一的制御原理とその分子実体の解明	田中 智洋	内分泌・代謝内科	5,460,000	補委 文部科学省
間葉系細胞由来ホルモンの生理作用とその破綻	中尾 一和	内分泌・代謝内科	36,400,000	補委 文部科学省
間葉系細胞由来ホルモンの生理作用とその破綻	中尾 一和	内分泌・代謝内科	4,550,000	補委 文部科学省
ヒトiPS/ES血管誘導技術によるヒト血管分化機構の解析と疾患iPS研究への応用	曾根 正勝	内分泌・代謝内科	4,160,000	補委 文部科学省
高脂血症による糖尿病性腎症悪化の新たな分子機構：MRP8/TLR4シグナル経路	桑原 孝成	内分泌・代謝内科	4,290,000	補委 文部科学省
脂肪毒性および耐糖能異常での新規膜型脂肪酸受容体の膵β細胞保護作用と転写制御機構	富田 努	内分泌・代謝内科	4,160,000	補委 文部科学省
ヒトiPS細胞を用いた脂肪萎縮症の成因の解明と細胞治療法の開発	野口 倫生	内分泌・代謝内科	4,160,000	補委 文部科学省
新規に樹立したグレリン細胞株によるグレリン生合成、分泌機構の解明	岩倉 浩	内分泌・代謝内科	4,290,000	補委 文部科学省
ヒト胚性幹細胞・誘導多能性幹細胞のステロイド産生細胞への分化機構の解明	園山 拓洋	内分泌・代謝内科	4,160,000	補委 文部科学省
レプチン抵抗性の発症および改善メカニズムの解明	日下部 徹	内分泌・代謝内科	4,160,000	補委 文部科学省
グレリン分泌低下マウスを用いた摂食脂肪蓄積におけるグレリンの生理的意義の検討	有安 宏之	内分泌・代謝内科	4,290,000	補委 文部科学省
ナトリウム利尿ペプチドの内軟骨性骨化におけるクロストーク	藤井 寿人	内分泌・代謝内科	4,290,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
報酬系神経回路の異常病態から見た過食メカニズムの解明と肥満症の治療戦略	山田 伸子	内分泌・代謝内科	4,290,000	補委 文部科学省
顎顔面領域における疾患特異的iPS細胞を用いた新たな治療法の開発	小山 典昭	内分泌・代謝内科	4,160,000	補委 文部科学省
脂肪蓄積による臓器機能破綻の分子基盤の解明	細田 公則	内分泌・代謝内科	28,080,000	補委 文部科学省
グレリン細胞内遺伝子発現プロファイルの解析	岩倉 浩	内分泌・代謝内科	3,380,000	補委 文部科学省
アドレノメデュリンの脂肪組織における病態生理学的意義の解明	錦見 俊雄	内分泌・代謝内科	3,380,000	補委 文部科学省
iPS細胞を用いた脂肪萎縮症の脂肪萎縮と異所性脂肪蓄積の病因・病態の解明	野口 倫生	内分泌・代謝内科	3,380,000	補委 文部科学省
脂肪細胞由来因子レプチンのエネルギー代謝調節作用における分子メカニズムの解明	海老原 健	内分泌・代謝内科	3,380,000	補委 文部科学省
新規遺伝子変異ラット作製システムを用いた内分泌代謝病態モデルラットの開発と解析	中尾 一和	内分泌・代謝内科	3,640,000	補委 文部科学省
myocardinとMRTF-AのmiR1を介した相対的発現変化の血管病での意義	桑原 宏一郎	内分泌・代謝内科	3,640,000	補委 文部科学省
細胞コンテナとモデル動物によるヒトiPS細胞由来脂肪細胞の細胞治療の研究	細田 公則	内分泌・代謝内科	3,770,000	補委 文部科学省
ヒトiPS/ES細胞からの血管・脂肪細胞分化誘導および血管再生療法への応用	田浦 大輔	内分泌・代謝内科	900,000	補委 文部科学省
新規創薬を目指した生活習慣病・難治性疾患モデル遺伝子変異ラットの開発と解析	中尾 一和	内分泌・代謝内科	13,000,000	補委 厚生労働省
柴胡剤・熊胆剤による胆汁酸代謝制御の分子機構の解明と非アルコール性脂肪肝炎(NASH)治療への展開	田中 智洋	内分泌・代謝内科	15,600,000	補委 厚生労働省
重症循環器疾患に対する生理活性ペプチドのトランスレーショナルリサーチ(動物モデルを用いた生理活性ペプチドの重症循環器疾患における役割の解明とその展開研究)	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,500,000	補委 (独)国立循環器病研究センター
京都大学iPS細胞研究統合推進拠点	中尾 一和	内分泌・代謝内科	32,175,000	補委 文部科学省(分担)
マイクロRNA-33a/bによるHDLコレステロール制御機構の解明と治療への応用	尾野 亘	循環器内科	4,420,000	補委 文部科学省
インスリン・シグナルを標的とした心不全エネルギー代謝異常治療法の開発	塩井 哲雄	循環器内科	5,330,000	補委 文部科学省
心臓リモデリングに関わるlincRNAの機能の解明	桑原 康秀	循環器内科	1,560,000	補委 文部科学省
新規シェディング調節因子によるアミロイドβ産生調節機構の解明	大野 美紀子	循環器内科	4,420,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マイクロRNA制御による新規動脈硬化予防法・治療法の開発	堀江 貴裕	循環器内科	4,160,000	補委 文部科学省
HDL機能が冠動脈病変に及ぼす影響の解析	今井 逸雄	循環器内科	4,290,000	補委 文部科学省
細胞外ドメインシェディングによるシグナル伝達制御の病態における意義	西 英一郎	循環器内科	3,510,000	補委 文部科学省
新規シェディング活性化因子の交感神経—効果器ワイヤリングにおける意義の解明	大野 美紀子	循環器内科	3,510,000	補委 文部科学省
個体恒常性を制御する天然変性タンパク質ナルディライジンの機能解明	平岡 義範	循環器内科	5,590,000	補委 文部科学省
ノンコーディングRNAによる脂質代謝調節を担う転写因子間のクロストーク	尾野 亘	循環器内科	4,940,000	補委 文部科学省
致死性不整脈疾患におけるヒトiPS細胞を用いた新規原因遺伝子探索	木村 剛	循環器内科	3,770,000	補委 文部科学省
軸索髄鞘形成因子ナルディライジンの病態生理学的意義の解明	西 英一郎	循環器内科	6,760,000	補委 文部科学省
FCレセプター修飾による心不全と動脈硬化の治療	岸本 千晴	循環器内科	5,460,000	補委 文部科学省
遺伝性不整脈疾患の病態解明—疾患特異的ヒトiPS細胞を用いた解析	牧山 武	循環器内科	4,160,000	補委 文部科学省
リーダーレスタンパク質の非古典的分泌機序の解明	西 英一郎	循環器内科	3,770,000	補委 文部科学省
ヒトハプロイド細胞を用いた遺伝子トラップ法による脂質異常症治療法の開発	尾野 亘	循環器内科	3,640,000	補委 文部科学省
iPS細胞由来の心筋細胞による心筋再生治療における細胞の至適着条件の検討	舟越 俊介	循環器内科	900,000	補委 文部科学省
大規模コホートを用いた急性心筋梗塞における早期再灌流療法に向けた医療連携システム構築と効果的な患者教育のためのエビデンス構築に関する研究	木村 剛	循環器内科	10,500,000	補委 厚生労働省
ペプチド、タンパク質を用いた循環器疾患治療の研究基盤構築に関する研究 (LOX-1抗体コーティング剤の有効性の検討)	木村 剛	循環器内科	1,500,000	補委 (独) 国立循環器病研究センター
活性型ナルディライジンを標的とする新規抗体製剤の開発	西 英一郎	循環器内科	11,000,000	補委 文部科学省
マイクロRNA-126の徐放化を応用した新規冠動脈ステントの開発	尾野 亘	循環器内科	910,000	補委 (独) 科学技術振興機構
肝発癌過程における組織肝幹細胞の役割	遠藤 容子	消化器内科	1,560,000	補委 文部科学省
ISS-ODNsを用いた腸管内免疫制御機構の解明及び炎症性腸疾患新規治療法の開発	本澤 有介	消化器内科	900,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規幹細胞マーカーSox9を指標とした消化器系幹細胞からの発癌機構の解析	金 秀 基	消化器内科	900,000	補 委 文部科学省
肝幹細胞への遺伝子異常が肝発癌に果たす役割の解明	丸 澤 宏 之	消化器内科	4,680,000	補 委 文部科学省
非アルコール性脂肪肝炎の病態形成におけるJNKシグナルの機能解析	児 玉 裕 三	消化器内科	1,170,000	補 委 文部科学省
Gas6による自然免疫制御が大腸癌に及ぼす影響	妹 尾 浩	消化器内科	4,940,000	補 委 文部科学省
消化器癌におけるインスリン様増殖因子活性化機構の解明と中和抗体による治療法の開発	宮 本 心 一	消化器内科	4,940,000	補 委 文部科学省
炎症性腸疾患における増悪因子としての鉄の役割—腸内細菌および鉄関連分子からの解析	松 浦 稔	消化器内科	4,940,000	補 委 文部科学省
新規の致死性自己免疫性肝炎モデルを用いた肝炎劇化に関わる腸内細菌免疫応答の解析	渡 部 則 彦	消化器内科	4,940,000	補 委 文部科学省
ADAMプロテアーゼ活性化分子ナルディライジンを標的とした消化管癌治療法の探索	米 門 秀 行	消化器内科	5,330,000	補 委 文部科学省
ヘリコバクター・ピロリ関連胃発癌過程におけるゲノム異常生成機構の解明	松 本 裕 子	消化器内科	5,200,000	補 委 文部科学省
胃炎からの炎症性発癌過程における幹細胞の役割	上 尾 太 郎	消化器内科	5,070,000	補 委 文部科学省
炎症性腸疾患大腸発癌における低分子量GTP蛋白Ralの機能解析	仲 瀬 裕 志	消化器内科	5,070,000	補 委 文部科学省
炎症からの消化器発癌におけるゲノム・エピゲノム異常の統合的解析と生成機構の解明	千 葉 勉	消化器内科	65,130,000	補 委 文部科学省
C型肝炎ウイルス感染細胞による形質細胞様樹状細胞活性化機序の解明	高 橋 健	消化器内科	4,290,000	補 委 文部科学省
癌幹細胞特異的マーカーの同定と癌幹細胞特異的治療法の開発	千 葉 勉	消化器内科	3,640,000	補 委 文部科学省
IgG4関連疾患に関する調査研究	千 葉 勉	消化器内科	77,540,000	補 委 厚生労働省
アルコール代謝酵素と食道多発がん・他臓器重複がんとの関連性および発症予防に関する研究班(22-36)	武 藤 学	消化器内科	8,060,000	補 委 (独)国立がん研究センター
消化管がん内視鏡的治療法の標準化に関する研究(23-A-19)嶋田班	武 藤 学	消化器内科	3,000,000	補 委 (独)国立がん研究センター
Hes1, Dcamk11を標的としたがん幹細胞特異的治療法の開発	千 葉 勉	消化器内科	11,000,000	補 委 文部科学省
iPS細胞を用いた難治性呼吸器疾患の病態解明と新規治療法の開発	三 嶋 理 晃	呼吸器内科	9,100,000	補 委 文部科学省

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
慢性炎症性気道疾患の難治化におけるキチナーゼ関連蛋白質の作用機序の解明	松本 久子	呼吸器内科	520,000	補委 文部科学省
呼吸器疾患の胸部CT画像による定量的網羅的評価システムの開発と病態解明への応用	平井 豊博	呼吸器内科	650,000	補委 文部科学省
ヒトiPS細胞を用いた肺組織幹細胞の探索とII型肺胞上皮細胞誘導への挑戦	伊藤 功朗	呼吸器内科	5,330,000	補委 文部科学省
全ゲノムシーケンスによるMAC菌分子疫学の確立と環境感染に関する病原遺伝子の探索	伊藤 穰	呼吸器内科	5,330,000	補委 文部科学省
呼吸不全に関する調査研究	三嶋 理晃	呼吸器内科	44,100,000	補委 厚生労働省
京都大学臨床研究ハイウェイを活用した難治疾患・がん等の新規治療法の開発	三嶋 理晃	呼吸器内科	100,000,000	補委 厚生労働省
炎症制御蛋白による全身性自己免疫疾患の病態解析と新規治療への展開	三森 経世	免疫・膠原病内科	5,330,000	補委 文部科学省
SST-REX技術と細胞免疫療法による新たな免疫制御法の開発	臼井 崇	免疫・膠原病内科	5,070,000	補委 文部科学省
改良型モデル抗DNA抗体ノックイン・マウスにおける自己反応性B細胞制御メカニズム	吉藤 元	免疫・膠原病内科	4,030,000	補委 文部科学省
抗シトルリン化ペプチド抗体陰性関節リウマチ患者における新規自己抗体の探索	湯川 尚一郎	免疫・膠原病内科	4,160,000	補委 文部科学省
蛋白アレイを用いた関節リウマチの新たな抗シトルリン化蛋白抗体の網羅的検索	大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	3,900,000	補委 文部科学省
ストレス老化シグナルによる解糖系酵素分子制御の誘導する癌化バリアー形成の解明	近藤 祥司	老年内科	6,500,000	補委 文部科学省
アミロイドPET所見と神経心理学的検査に基づいた早期認知症患者背景疾患の分析	武地 一	老年内科	1,040,000	補委 文部科学省
解糖系代謝シフトによる寿命調節効果を指標とした加齢生活習慣病の新規診断・治療法の開発	近藤 祥司	老年内科	455,000	補委 (独) 科学技術振興機構
老化細胞分泌因子の老年病との関係解明とその臨床応用への検討	近藤 祥司	老年内科	5,200,000	補委 (独) 科学技術振興機構
糖尿病の超早期診断のための核磁気共鳴画像(MRI)による膵島定量法の開発	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	4,940,000	補委 文部科学省
脂肪組織におけるインクレチンGIPの役割—組織特異的受容体欠損マウスの解析—	原田 範雄	糖尿病・栄養内科	1,690,000	補委 文部科学省
胎生期の低栄養が膵島の質的・機能的形成に及ぼす影響の解析	豊田 健太郎	糖尿病・栄養内科	910,000	補委 文部科学省
ATPプローブを用いた膵島、骨格筋、心筋細胞内ATP濃度リアルタイムモニタリング	長嶋 一昭	糖尿病・栄養内科	910,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ミトコンドリアSIRT5タンパクの機能と肝臓・骨格筋における代謝機能関連	中村 靖彦	糖尿病・栄養内科	4,290,000	補委 文部科学省
グルコース応答性およびインクレチン促進性インスリン分泌機構における分子機序の解明	原島 伸一	糖尿病・栄養内科	5,460,000	補委 文部科学省
三次元画像解析技術を用いた新生膵島の解析	藤本 裕之	糖尿病・栄養内科	4,290,000	補委 文部科学省
日本糖尿病家族歴濃厚家系の全ゲノム連鎖解析および全エクソンシーケンスを併用した糖尿病関連遺伝子の同定	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	36,000,000	補委 厚生労働省
糖代謝恒常性を維持する細胞機能破綻の分子機構の解明	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	10,088,000	補委 (独) 科学技術振興機構
Exendin骨格を用いた非侵襲的膵島定量のためのPET診断用プローブの開発	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	85,200,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
農林水産物・食品の機能性等を解析・評価するための基盤技術の開発(タンニン類に着目したリンゴ・茶の生体調節機能の医学的検証と高含有品種育成など活用に関する研究開発)	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	3,000,000	補委 (独) 農業・食品産業技術総合研究機構
敗血症病態における画像を用いた生体内熱エネルギー動態と生体内代謝動態の可視化	佐藤 格夫	初期診療・救急科	1,300,000	補委 文部科学省
核磁気共鳴法を応用した敗血症重症化早期診断の確立と新規治療ターゲットの開拓	鈴木 崇生	初期診療・救急科	5,330,000	補委 文部科学省
再生医療を用いた拡張型心筋症・虚血性心筋症に対する新たな治療戦略の開発	西尾 亮介	初期診療・救急科	5,070,000	補委 文部科学省
核磁気共鳴法を用いた小児熱性疾患の早期鑑別診断法の開発	小池 薫	初期診療・救急科	3,770,000	補委 文部科学省
高性能微量薬液注入装置の開発	小池 薫	初期診療・救急科	130,000	補委 (独) 科学技術振興機構
デフォルトモードネットワークの活動測定による神経変性疾患の発症前診断	福山 秀直	神経内科	10,790,000	補委 文部科学省
グリアと神経細胞のクロストーク; てんかん焦点の広域周波数帯域脳波と画像解析	池田 昭夫	神経内科	5,330,000	補委 文部科学省
低分子化合物スクリーニングによるパーキンソン病治療薬開発	高橋 良輔	神経内科	6,500,000	補委 文部科学省
オプチニューリン機能異常を基盤としたALSの発症機序解明と新規治療候補薬の開発	伊東 秀文	神経内科	7,280,000	補委 文部科学省
ガンマセクレターゼのアロステリック構造変化を利用したアルツハイマー治療研究	植村 健吾	神経内科	5,200,000	補委 文部科学省
意識変容にかかわるネットワークの機能動態の解明	松本 理器	神経内科	5,200,000	補委 文部科学省
大脳基底核及び小脳の障害によって生じる神経ネットワークの機能異常の解明	澤本 伸克	神経内科	5,200,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
筋萎縮性側索硬化症の細胞群別の分子病態の網羅的解明	山下 博史	神経内科	5,330,000	補委 文部科学省
新しいシヌクレイン遺伝子導入マウスを用いたパーキンソン病発症メカニズムの解明	山門 穂高	神経内科	3,770,000	補委 文部科学省
既存薬による転写を標的とした萎縮性側索硬化症の新規治療法開発	村上 学	神経内科	4,290,000	補委 文部科学省
脳内環境:恒常性維持機構とその破綻	高橋 良輔	神経内科	6,760,000	補委 文部科学省
タンパク分解系障害による脳内環境変動と神経変性メカニズム	高橋 良輔	神経内科	38,740,000	補委 文部科学省
脳機能イメージングと皮質脳波による「無料」のヒト脳内表現の解明	美馬 達哉	神経内科	3,770,000	補委 文部科学省
磁気刺激と反復運動のハイブリッドによるリハビリの脳内機構の非侵襲的手法による解明	美馬 達哉	神経内科	9,880,000	補委 文部科学省
家族性パーキンソン病多重遺伝子変異モデルの製作と解析	高橋 良輔	神経内科	23,868,000	補委 (独) 科学技術振興機構
てんかんの診断と治療に関する戦略的医療についての研究	池田 昭夫	神経内科	1,000,000	補委 (独) 国立精神・神経医療研究センター
コンパクト3テスラMRI装置の開発	福山 秀直	神経内科	22,100,000	補委 (独) 科学技術振興機構
アセトアルデヒドによる扁平上皮発がん機序の解明と予防医学への応用	武藤 学	腫瘍薬物治療学	5,200,000	補委 文部科学省
近赤外光を利用した非破壊的組織診断システムの開発	江副 康正	腫瘍薬物治療学	4,160,000	補委 文部科学省
食道がん化学放射線療法後局所遺残再発例に対するタラポルフィリンナトリウム(レザフィリン)及び半導体レーザー(PDレーザー)を用いた光線力療法の医師主導治験	武藤 学	腫瘍薬物治療学	39,000,000	補委 厚生労働省
難治性がん高危険群スクリーニング用の微量生体ガス分析法の開発	武藤 学	腫瘍薬物治療学	1,950,000	補委 (独) 科学技術振興機構
組織イメージングを利用した新しい内視鏡観察システムの開発	堀松 高博	消化器内科(探索医療開発部)	3,770,000	補委 文部科学省
網羅的マイクロRNA発現解析を用いたクルクミンの新たな抗腫瘍機序の解明	金井 雅史	探索臨床腫瘍学講座	5,330,000	補委 文部科学省
統合的ゲノム・エピゲノム解析を用いた消化器癌の化学療法における感受性予測	西村 貴文	探索臨床腫瘍学講座	5,330,000	補委 文部科学省
内視鏡下リンパ節転移診断確立のための基礎研究	坂井 義治	消化管外科	1,300,000	補委 文部科学省
HER受容体と下流シグナル伝達系異常に基づく胃癌の治療効果予測マーカー探索	岡部 寛	消化管外科	5,330,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
胃癌腹膜播種性転移に対するドラッグデリバリーシステムの開発	小濱 和貴	消化管外科	5,460,000	補委 文部科学省
大腸癌におけるKRAS遺伝子変異を介した糖代謝およびFDG集積機構の解析	長谷川 傑	消化管外科	5,330,000	補委 文部科学省
大腸癌転移制御におけるケモカイン・シグナル阻害の臨床応用へ向けた展開	河田 健二	消化管外科	5,330,000	補委 文部科学省
胃癌におけるCFL1発現の臨床病理学的意義とその分子機構の解析	角田 茂	消化管外科	4,290,000	補委 文部科学省
cineMRIを用いた再建胃管の生理機能評価	田中 英治	消化管外科	3,250,000	補委 文部科学省
癌組織中の線維芽細胞の機能解析と新規治療法開発	松末 亮	消化管外科	4,160,000	補委 文部科学省
さらなる低侵襲性や機能温存を目指した内視鏡下手術の開発(23-A-26)小管班	坂井 義治	消化管外科	500,000	補委 (独) 国立がん研究センター
有効性と安全性の最大化を目的とした抗悪性腫瘍薬の生物学的最適投与法に関する研究	石黒 洋	乳腺外科	5,200,000	補委 文部科学省
乳癌治療における間質反応とエネルギー代謝に関する研究	上野 貴之	乳腺外科	5,330,000	補委 文部科学省
トラスツマブ耐性に関わる分子機構の解析と新規治療法開発のための基礎的研究	杉江 知治	乳腺外科	5,200,000	補委 文部科学省
ニューロピリン-1発現ナチュラルキラー細胞の乳癌治療における意義に関する研究	鈴木 栄治	乳腺外科	1,300,000	補委 文部科学省
抗がん剤効果予測による乳がん患者の再発リスク抑制と毒性軽減および医療経済負担低減に関する検証的研究	戸井 雅和	乳腺外科	15,000,000	補委 厚生労働省
乳がんに対するトラスツマブ感受性予測DNAチップの検証開発	戸井 雅和	乳腺外科	13,000,000	補委 (独) 科学技術振興機構
血中循環乳がん細胞に対するエピジェネティクス・マルチマーカーの実用化開発	戸井 雅和	乳腺外科	17,500,000	補委 文部科学省
肝移植/臓器移植における凝固・線溶系異常の病態解明と新規治療法の開発	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	6,370,000	補委 文部科学省
免疫応答修飾による肝移植後線維化の制御戦略	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	5,460,000	補委 文部科学省
心停止ドナーを用いた肝移植に対する新しい治療戦略ー温粗血時間の限界への挑戦	小倉 靖弘	肝胆膵・移植外科	390,000	補委 文部科学省
グルコース依存性インスリン刺激ポリペプチドの膵発生と膵癌進展における基盤的研究	小泉 将之	肝胆膵・移植外科	5,330,000	補委 文部科学省
境界グラフトに対する一酸化窒素を用いた臓器保存戦略	八木 真太郎	肝胆膵・移植外科	5,330,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト多能性幹細胞由来肝細胞の分化誘導法確立と細胞移植における有用性の検討	安近 健太郎	肝胆膵・移植外科	5,330,000	補委 文部科学省
iPS細胞から機能性肝細胞への分化誘導法の確立;細胞移植治療を目指して	石井 隆道	肝胆膵・移植外科	1,170,000	補委 文部科学省
肝虚血再灌流障害における新しいメカニズムの解明—T細胞の役割について—	内田 洋一郎	肝胆膵・移植外科	4,160,000	補委 文部科学省
胆管上皮マーカー陽性肝細胞癌細胞における癌幹細胞としての特性解析	児玉 創太	肝胆膵・移植外科	4,160,000	補委 文部科学省
肝細胞癌肝移植後のエベロリムス (Everolimus) の再発予防効果の研究	伊藤 孝司	肝胆膵・移植外科	4,420,000	補委 文部科学省
水素水による肝線維化治療戦略	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	3,640,000	補委 文部科学省
肝硬変治療への挑戦:再生医療の導入による非移植治療の提案	藤本 康弘	肝胆膵・移植外科	3,770,000	補委 文部科学省
ARFIを用いた肝硬度測定による新たな肝切除安全性指標確立に関する研究	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	3,770,000	補委 文部科学省
肝癌に対する新規治療開拓を目指した肝癌幹細胞の単離と発癌過程の細胞生物学的検討	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	3,770,000	補委 文部科学省
肝移植後C型肝炎に対する治療法の標準化を目指した臨床的ならびに基礎的研究	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	31,122,000	補委 厚生労働省
臓器移植分野に関する学術研究動向調査研究	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	1,870,000	補委 (独)日本学術振興会
グラフト肝虚血再灌流障害の飛躍的改善:間葉系幹細胞導入による臓器保存液の開発	岡本 晋弥	小児外科	5,330,000	補委 文部科学省
成人人体肝移植の革新:幹細胞導入下の過少グラフトを用いた肝移植	小川 晃平	小児外科	5,330,000	補委 文部科学省
VGP阻害剤による眼疾患に対する新たな神経保護治療法の研究開発	吉村 長久	眼科	14,170,000	補委 文部科学省
補償光学適用走査レーザー検眼鏡による緑内障性神経線維束障害の解析	板谷 正紀	眼科	5,200,000	補委 文部科学省
強度近視における脈絡膜新生血管の発生機序の解明	山城 健児	眼科	5,330,000	補委 文部科学省
網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫の細胞レベルでの病態・構造・機能解析システムの確立	辻川 明孝	眼科	5,330,000	補委 文部科学省
ゲノム情報や視細胞の形態・生理に基づく加齢黄斑変性の傍眼発症予測モデルの確立	田村 寛	眼科	5,330,000	補委 文部科学省
近視マウスの網膜細胞種別発現プロファイリングとヒト遺伝子多型データとの相関	後藤 謙元	眼科	1,560,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
補償光学適用走査レーザー検眼鏡による萎縮型加齢黄斑変性の病態解析と治療評価法開発	大音 壮太郎	眼科	4,160,000	補委 文部科学省
補償光学適応走査型レーザー検眼鏡を用いた虚血性黄斑症の病態解析	宇治 彰人	眼科	4,160,000	補委 文部科学省
セマフォリン3E/プレキシンド1経路の制御による脈絡膜新生血管の治療法開発	大石 明生	眼科	4,160,000	補委 文部科学省
SS-OCTおよび黄斑局所網膜電図を用いた網膜静脈閉塞症の治療反応性、予後の予測	荻野 顕	眼科	4,290,000	補委 文部科学省
自己組織化マップを用いた糖尿病黄斑浮腫の新規分類法の探索	村上 智昭	眼科	4,160,000	補委 文部科学省
VCP阻害剤による網膜色素変性症に対する治療法の開発	池田 華子	眼科	4,160,000	補委 文部科学省
視覚系の稀少難治性疾患群に関する症例データベース構築	吉村 長久	眼科	80,000,000	補委 厚生労働省
加齢黄斑変性に対する個別化医療実現のための前向き臨床研究にもとづくゲノムワイド関連解析	吉村 長久	眼科	22,053,000	補委 厚生労働省
ヒト胚子先天異常・画像データベース	山田 重人	産科婦人科	5,100,000	補委 文部科学省
胚特異的糖鎖抗原を介した母体の胚認識および胚着床・胎盤形成誘導機構の解析	藤原 浩	産科婦人科	5,850,000	補委 文部科学省
卵膜を介した胎児・母体間クロストークの分子機構の解析	角井 和代	産科婦人科	1,040,000	補委 文部科学省
絨毛細胞による母体らせん動脈の浸潤機構の解明—母体血小板に着目して—	佐藤 幸保	産科婦人科	5,460,000	補委 文部科学省
胎児予備能の許容限界の解明を目指した重症胎児発育不全における炎症関連分子の解析	近藤 英治	産科婦人科	4,160,000	補委 文部科学省
卵巣癌におけるモルフォゲンシグナルのシステム生物学的解析による治療開発	吉岡 弓子	産科婦人科	2,990,000	補委 文部科学省
Bioinformaticsによる、卵巣明細胞腺癌における代謝異常の解明	松村 謙臣	産科婦人科	4,160,000	補委 文部科学省
タイプ2子宮体癌、特に漿液性腺癌の網羅的遺伝子発現解析に基づく分子標的治療薬開発	馬場 長	産科婦人科	2,990,000	補委 文部科学省
ヒト胎児の三次元イメージングおよびDNA解析を用いた先天異常の原因と予防法の探索	山田 重人	産科婦人科	4,550,000	補委 文部科学省
卵巣明細胞腺癌におけるメタボローム解析とオートファジーの役割	山口 建	産科婦人科	2,470,000	補委 文部科学省
卵巣癌治療における宿主免疫変化の包括的解析を用いた新規免疫化学療法を検討	濱西 潤三	産科婦人科	3,250,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
網羅的遺伝子発現解析に基づく卵巣癌幹細胞に特異的な免疫療法の開発	小西 郁生	産科婦人科	3,770,000	補委 文部科学省
「つわり」は葉酸添加ガムで治せるか？ —新たな代替療法の検証—	菅沼 信彦	産科婦人科	3,640,000	補委 文部科学省
ヒト栄養膜細胞に特異的な新規液性因子 Iaeverinによる免疫寛容誘導機構の解析	藤原 浩	産科婦人科	3,770,000	補委 文部科学省
がん免疫逃避機構を標的にした次世代型 免疫治療の臨床応用と新規バイオマ ーカーの探索	小西 郁生	産科婦人科	55,000,000	補委 厚生労働省
卵巣癌に対する新たな標準的治療法の確 立を目指した研究(23-A-17)飛内班	小西 郁生	産科婦人科	1,000,000	補委 (独)国立がん 研究センター
難治性血液腫瘍疾患に対する新規治療法 の開発と新規細胞死機序の探索	足立 壯一	小児科	5,070,000	補委 文部科学省
NLRP3モザイクによる疾患発症、炎症波 及機序の解明	井澤 和司	小児科	1,560,000	補委 文部科学省
白血病及び骨髄異形成症候群の新規予後 因子を血液標本から検出するシステムの 確立	足立 壯一	小児科	3,900,000	補委 文部科学省
自己炎症性疾患に対する新たな分子細胞 生物学的手法を駆使した病態解明・治療 基盤開発	平家 俊男	小児科	15,730,000	補委 文部科学省
網羅的遺伝子解析及び細胞工学的手法を 用いた不明発熱症候群の原因解明	西小森 隆太	小児科	6,760,000	補委 文部科学省
家族性血球貪食症候群の迅速診断法確立 と細胞工学的手法を用いた病態解明	八角 高裕	小児科	1,300,000	補委 文部科学省
iPS細胞からの軟骨分化システムを用い た先天性骨・関節疾患の網羅的解析法 の開発	梅田 雄嗣	小児科	5,200,000	補委 文部科学省
iPS細胞、及び疾患特異的iPS細胞 からの骨格筋細胞分化誘導に関する基盤 研究開発	加藤 竹雄	小児科	5,330,000	補委 文部科学省
先天性好中球減少症の疾患特異的iPS 細胞を用いた新規病態解析・治療開発基 盤の確立	渡邊 健一郎	小児科	5,460,000	補委 文部科学省
マイクロRNAセンサーベクターを用い た新規ヒト造血幹細胞分画の同定と機能 解析	平松 英文	小児科	5,330,000	補委 文部科学省
病院倫理委員会の教育研修の現状に基づ いた教育研修方法の確立	道和 百合	小児科	5,590,000	補委 文部科学省
白血病の中樞神経を含んだ骨髄内外にお ける白血病微小環境の解析に関する研究	加藤 格	小児科	1,560,000	補委 文部科学省
免疫不全症に合併した炎症性腸疾患の網 羅的解析	河合 朋樹	小児科	1,560,000	補委 文部科学省
ヒトES/iPS細胞に由来する骨格筋 幹・前駆細胞の分離技術の確立	栗屋 智就	小児科	4,290,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
筋ジストロフィー患者の予後改善を目的とした新規治療方針の開発	馬場 志郎	小児科	4,160,000	補委 文部科学省
筋ジストロフィー症に対する次世代治療開発基盤の確立	平家 俊男	小児科	3,640,000	補委 文部科学省
自己炎症疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立	平家 俊男	小児科	65,000,000	補委 厚生労働省
小児急性骨髄性白血病（AML）に対する標準的治療法の確立	足立 壮一	小児科	18,000,000	補委 厚生労働省
小児白血病治療の進歩と長期フォローアップについて	足立 壮一	小児科	211,300	補委 厚生労働省
筋ジストロフィーに対するトランスレーショナル・リサーチ	平家 俊男	小児科	2,500,000	補委 (独) 国立精神・神経医療研究センター
患者検体および患者由来 iPS 細胞を用いた広汎性発達障害のエピゲノム解析	平家 俊男	小児科	10,595,000	補委 (独) 科学技術振興機構
NOG マウスを用いた TAM/AMKL のエピゲノム解析	平家 俊男	小児科	3,900,000	補委 (独) 科学技術振興機構
疾患特異的 iPS 細胞を活用した筋骨格系難病研究	平家 俊男	小児科	3,000,000	補委 文部科学省 (分担)
制御性 T 細胞サブセットによる皮膚免疫制御	野村 尚史	皮膚科	4,680,000	補委 文部科学省
ライブイメージングを用いたアトピー性皮膚炎病態解析と新規病態制御因子の同定	本田 哲也	皮膚科	5,330,000	補委 文部科学省
悪性黒色腫に対する新規細胞療法における制御性免疫細胞の関与の解明	谷岡 未樹	皮膚科	4,160,000	補委 文部科学省
尋常性乾癬の病態維持機構における血清アミロイド A の関与についての検討	谷崎 英昭	皮膚科	4,160,000	補委 文部科学省
C I A S 1 遺伝子の機能解析と C A P S の病態解明	藤澤 章弘	皮膚科	4,290,000	補委 文部科学省
免疫・アレルギー性皮膚疾患と脂質メディエーター	宮地 良樹	皮膚科	20,410,000	補委 文部科学省
新規モデルマウスを用いた肥満細胞や好塩基球のアトピー性皮膚炎における役割の解明	宮地 良樹	皮膚科	3,770,000	補委 文部科学省
免疫システムにおける肥満細胞の機能解明	大塚 篤司	皮膚科	800,000	補委 文部科学省
皮膚免疫の多様性形成における樹状細胞の役割の解明	江川 形平	皮膚科	1,200,000	補委 文部科学省
好酸球性膿疱性毛包炎の病態解明と新病型分類の提言	宮地 良樹	皮膚科	10,400,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
次世代質量分析による癌個別的ゼノグラフィの双方向的解析からの革新的診断治療シーズ	小川 修	泌尿器科	9,230,000	補委 文部科学省
患者癌組織移植モデルの網羅的シーケンシング解析による泌尿器癌薬剤耐性機構の探索	神波 大己	泌尿器科	7,800,000	補委 文部科学省
GAPを介した泌尿器癌転移の分子機序の解明	大久保 和俊	泌尿器科	910,000	補委 文部科学省
先天性過活動膀胱モデル動物としてのTNF α ノックアウトマウスの解析	今村 正明	泌尿器科	5,070,000	補委 文部科学省
RaI関連分子ネットワークに着目した膀胱癌進展機序の解明	松井 喜之	泌尿器科	5,460,000	補委 文部科学省
マイクロRNAに着目した過活動膀胱新規治療ターゲットの探索	杉野 善雄	泌尿器科	5,460,000	補委 文部科学省
HIFを介さないVHL制御機構解析による腎癌に対する分子標的治療抵抗性の克服	山崎 俊成	泌尿器科	1,950,000	補委 文部科学省
Xenograftモデルを用いた前立腺癌予後予測血中マーカーの探索	寺田 直樹	泌尿器科	1,560,000	補委 文部科学省
癌微小環境に着目した去勢抵抗性前立腺癌の新規腫瘍マーカー及び治療標的の探索	清水 洋祐	泌尿器科	3,380,000	補委 文部科学省
住民検診コホートによる夜尿症原因遺伝子の探索研究	吉村 耕治	泌尿器科	3,380,000	補委 文部科学省
ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療（前立腺癌の疾患感受性、治療反応性、および治療随伴副作用予測に関する遺伝子多型解析）	小川 修	泌尿器科	5,100,000	補委 文部科学省
内耳疾患特異的iPS細胞を用いた新しい内耳病態解析モデルの確立	中川 隆之	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委 文部科学省
質量顕微鏡による甲状腺癌未分化転化の網羅的解析	北村 守正	耳鼻咽喉科	1,170,000	補委 文部科学省
コンフォーカルマイクロエンドスコープを用いた新しい内耳遺伝子導入方法の開発	田浦 晶子	耳鼻咽喉科	5,330,000	補委 文部科学省
頭頸部表在癌の発現プロファイリングによる治療戦略の確立	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科	4,940,000	補委 文部科学省
人工内耳成績改善と適応拡大のためのトランスレーショナルリサーチ	山本 典生	耳鼻咽喉科	5,330,000	補委 文部科学省
内耳発生メカニズムの解明と再生医療への応用	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	34,710,000	補委 文部科学省
アクチン構造様式に着目した難聴の分子メカニズム解明	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科	7,150,000	補委 文部科学省
プロスタグランジンE受容体サブタイプEP2、EP3の聴覚機構における役割の解明	松永 麻美	耳鼻咽喉科	3,900,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
内耳欠損マウス胚への幹細胞注入による内耳組織の誘導	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科	3,640,000	補委 文部科学省
細胞移植による聴神経機能再生の可視化の試み	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	3,380,000	補委 文部科学省
圧電素子を用いた新規平衡感覚デバイスの開発	稲岡 孝敏	耳鼻咽喉科	3,380,000	補委 文部科学省
MEMS/NEMS人口聴覚器による感音難聴治療法開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	9,938,000	補委 厚生労働省
内耳薬物投与システムを応用した感音難聴、耳鳴り治療技術の臨床応用	中川 隆之	耳鼻咽喉科	2,510,000	補委 厚生労働省
間葉系細胞を分化誘導した再生骨格筋の機能的有効性と安全性の研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	7,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
内耳観察用ファイバー型三次元画像診断装置の開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	508,200	補委 株式会社ニデック(経産省再委託)
京都大学 iPSC細胞研究統合推進拠点	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	16,087,500	補委 文部科学省(分担)
変形性関節症における軟骨分化マスター因子SOX9の病態関与と新規治療への基盤研究	秋山 治彦	整形外科	6,240,000	補委 文部科学省
軟骨幹細胞をモチーフとしたマルチモデルリハビリテーション手法の確立	青山 朋樹	整形外科	4,940,000	補委 文部科学省
高齢者の転倒予防を目的としたセミオーダーメイド型運動介入の確立	坪山 直生	整形外科	8,840,000	補委 文部科学省
ルブリシンを標的とした関節表層特異的遺伝子発現制御及びメカノセンシング機構の解明	山本 浩司	整形外科	7,930,000	補委 文部科学省
イヌでの骨髄間葉系幹細胞移植した血管柄含有チューブ内での神経再生	柿木 良介	整形外科	5,070,000	補委 文部科学省
膝関節骨軟骨移植術における光学的断層像による軟骨イメージングの試み	小林 雅彦	整形外科	5,330,000	補委 文部科学省
腕神経叢引き抜き損傷に対する前処理自家神経を用いた神経根再埋め込み法の研究	太田 壮一	整形外科	5,200,000	補委 文部科学省
軟骨変性と軟骨再生課程における低分子量蛋白と細胞骨格の関与についての研究	松田 秀一	整形外科	4,753,000	補委 文部科学省
Sox9-CreERT2マウスを用いた脊椎椎間板症の病態解明と新規治療薬の開発	宗 和隆	整形外科	4,160,000	補委 文部科学省
脊椎脊髄外科における新世代三次元造形技術の複合的応用	竹本 充	整形外科	4,290,000	補委 文部科学省
骨細胞におけるメカニカルストレス応答因子の探索による骨萎縮治療の基盤研究	秋山 治彦	整形外科	3,640,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血漿・関節液・尿・唾液中マイクロRNAを用いた骨軟骨・靭帯損傷の診断と病態解析	吉富 啓之	整形外科	3,640,000	補委 文部科学省
後縦靭帯骨化症の発症に関与する疾患関連遺伝子の検索、異所性骨化機序の解明	岡本 健	整形外科	3,640,000	補委 文部科学省
腰部脊柱管狭窄症の重症度予測式開発による新たな生体医療情報統合技術の創出	青山 朋樹	整形外科	2,210,000	補委 文部科学省
筋骨格モデルを用いた順動力学的評価に基づく新たなリハビリテーションシステムの開発	坪山 直生	整形外科	1,040,000	補委 文部科学省
ヒト関節リウマチ特異的CD4陽性細胞および血漿・関節液miRNAの同定と治療・診断への応用	吉富 啓之	整形外科	7,826,000	補委 厚生労働省
疾患特異的iPS細胞を活用した筋骨格系難病研究	松田 秀一	整形外科	3,000,000	補委 文部科学省(分担)
統合失調症の社会性障害に関するマルチモーダル神経画像研究	村井 俊哉	精神科神経科	4,030,000	補委 文部科学省
自己組織化マップを応用した新規脳画像解析により統合失調症異種性の神経基盤に挑む	杉原 玄一	精神科神経科	5,330,000	補委 文部科学省
過食を伴う摂食障害における衝動性の神経基盤についての研究	野間 俊一	精神科神経科	5,330,000	補委 文部科学省
精神・神経疾患における熟慮のおよび直感的意思決定障害の脳内基盤の解明	高橋 英彦	精神科神経科	17,420,000	補委 文部科学省
発達障害者におけるコミュニケーション障害のメカニズム解明	船曳 康子	精神科神経科	6,500,000	補委 文部科学省
プロセス依存の神経基盤に関する研究	村井 俊哉	精神科神経科	3,770,000	補委 文部科学省
道徳的・司法的判断に関する認知神経科学的研究	高橋 英彦	精神科神経科	5,980,000	補委 文部科学省
発達障害の特性分布の掌握と多特性複合の客観的指標の開発	船曳 康子	精神科神経科	1,300,000	補委 文部科学省
認知行動療法によるうつ病の治癒過程における脳構造・機能変化の解明	山崎 信幸	精神科神経科	4,160,000	補委 文部科学省
脳局所損傷と瀰漫性軸索損傷の症候学研究 <拡散テンソル強調画像を応用して>	上田 敬太	精神科神経科	3,900,000	補委 文部科学省
コネクティビティ解析による統合失調症の意思決定プロセスと症状の神経基盤の解明	宮田 淳	精神科神経科	4,160,000	補委 文部科学省
歯数制御による歯牙再生に関する分子生物学的研究	高橋 克	歯科口腔外科	1,300,000	補委 文部科学省
ナノ磁性粒子遺伝子導入法による骨再生	園部 純也	歯科口腔外科	5,200,000	補委 文部科学省

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
口腔組織欠損に対する修復促進作用を有する創保護材の開発に関する基礎的研究	藤村 和磨	歯科口腔外科	5,330,000	補 委 文部科学省
咀嚼能力および唾液が食後高血糖・耐糖能異常に及ぼす影響	家森 正志	歯科口腔外科	5,330,000	補 委 文部科学省
幹細胞由来成長因子を用いた骨造成に関する研究	池野 正幸	歯科口腔外科	1,300,000	補 委 文部科学省
Id2遺伝子欠損マウスを用いた顎変形症に関する分子生物学的研究	塚本 容子	歯科口腔外科	4,160,000	補 委 文部科学省
CNPを用いた顎顔面領域におけるトランスレーショナルリサーチ	中尾 一祐	歯科口腔外科	4,160,000	補 委 文部科学省
塩基性線維芽細胞増殖因子・多血小板血漿徐放化ゼラチンハイドロゲルによる歯槽骨再生	田村 佳代	歯科口腔外科	4,160,000	補 委 文部科学省
医科歯科連携のチーム医療におけるオーラルケア法の開発	別所 和久	歯科口腔外科	10,994,000	補 委 厚生労働省
BMP拮抗分子USAG-1とBMP-7の歯数制御による歯牙再生	高橋 克	歯科口腔外科	850,200	補 委 (独) 科学技術 振興機構
前立腺癌に対する革新的放射線外部照射技術の開発	溝脇 尚志	放射線治療科	5,200,000	補 委 文部科学省
難治がんの治療成績向上を目指した革新的放射線治療技術の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	30,160,000	補 委 文部科学省
動態下における強度変調放射線治療の安全性に関する基礎的検討	中村 光宏	放射線治療科	4,160,000	補 委 文部科学省
肝臓癌に対する体幹部定位放射線治療の実施手法確立に向けた研究	松尾 幸憲	放射線治療科	4,160,000	補 委 文部科学省
光イメージング技術を用いた分子標的薬の放射線増感作用機構の解明	吉村 通央	放射線治療科	2,730,000	補 委 文部科学省
悪性胸膜中皮腫に対する回転型強度変調放射線治療技術の実用化に向けた研究	椎木 健裕	放射線治療科	4,290,000	補 委 文部科学省
4次元放射線治療計画の臨床応用に向けた基礎検討	宮部 結城	放射線治療科	4,160,000	補 委 文部科学省
線量不定性を考慮した強度変調放射線治療計画法および線量検証システムの開発	宇都宮 悟	放射線治療科	4,160,000	補 委 文部科学省
定位放射線治療の最適化における基礎研究	板坂 聡	放射線治療科	3,640,000	補 委 文部科学省
がんの超早期局在診断に対応した高精度X線治療システム研究開発	平岡 眞寛	放射線治療科	21,495,852	補 委 (独) 新エネルギー・産業技術 総合開発機構
放射線治療を含む標準治療確立のための研究(23-A-21)伊藤班	平岡 眞寛	放射線治療科	500,000	補 委 (独) 国立がん 研究センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
IT融合による新社会の開発・実証プロジェクト	平岡 真寛	放射線治療科	8,259,451	補(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 委
小動物SPECT/CTを用いたヨウ素123標識ラクトソーム腫瘍イメージングの開発	栗原 研輔	放射線診断科	4,290,000	補 委 文部科学省
妊孕性の保持を含めた婦人科機能温存・低侵襲治療を支援する最新MR機能画像診断	富樫 かおり	放射線診断科	9,100,000	補 委 文部科学省
高分解能・高感度型乳腺用PET装置による乳癌の診断	中本 裕士	放射線診断科	910,000	補 委 文部科学省
超高磁場MRIによる超高分解能拡散テンソル・磁化率強調画像を用いた脳アトラス作成	山本 憲	放射線診断科	5,200,000	補 委 文部科学省
肝移植後合併症における非造影MR血流画像、肝線維化画像の確立と臨床的有用性の検討	磯田 裕義	放射線診断科	5,330,000	補 委 文部科学省
拡散強調画像の自動カラーコーディングによる乳腺病変の質的診断・リスク層別化	片岡 正子	放射線診断科	5,070,000	補 委 文部科学省
MRIを用いた線維化組織の可視化に関する研究	木戸 晶	放射線診断科	4,160,000	補 委 文部科学省
腫瘍内HIF-1存在低酸素領域の特異的描出を目的とした低分子放射性プローブの開発	上田 真史	放射線診断科	4,290,000	補 委 文部科学省
手術侵襲と痛みに対する生体ストレス反応の評価とオピオイドの意義に関する研究	福田 和彦	麻酔科	9,750,000	補 委 文部科学省
周術期における低酸素誘導性因子による酸素代謝制御の分子機構の解明	広田 喜一	麻酔科	4,550,000	補 委 文部科学省
T細胞に発現するオピオイド受容体の機能とその意義に関する研究	正田 丈裕	麻酔科	5,070,000	補 委 文部科学省
全身麻酔薬が脳内エリスロポエチン誘導におよぼす影響の分子生物学的解析	田中 具治	麻酔科	4,290,000	補 委 文部科学省
ベータ型変異増殖因子のシグナル伝達経路制御による肺移植後の肺線維化の予防法の開発	石井 久成	麻酔科	3,510,000	補 委 文部科学省
オピオイドの作用におけるtollike receptorの関与	角山 正博	麻酔科	3,510,000	補 委 文部科学省
低酸素センサー調節による誘導代謝リプログラミングによる腎不全治療戦略の策定	広田 喜一	麻酔科	3,770,000	補 委 文部科学省
頭蓋内主幹動脈閉塞性疾患における分子メカニズムの解明	宮本 享	脳神経外科	7,280,000	補 委 文部科学省
下垂体幹細胞からホルモン分泌細胞への分化誘導法の開発と下垂体再生医療への応用	北条 雅人	脳神経外科	5,070,000	補 委 文部科学省
近赤外線を用いた頸動脈不安定プラークの画像化に関する研究	石井 暁	脳神経外科	5,330,000	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
動脈硬化性巣における新規血管新生調節因子バソヒビンの発現様式と病的意義の解明	吉田 和道	脳神経外科	5,330,000	補 委 文部科学省
脳磁図と機能的MRIを用いた脳内ネットワーク変容の解析：難治性てんかんの病態解明	國枝 武治	脳神経外科	5,330,000	補 委 文部科学省
もやもや病における脳脊髄液タンパク解析の定量的評価システムの確立および遺伝子解析	荒木 芳生	脳神経外科	4,290,000	補 委 文部科学省
新しい脳卒中医療の開拓と均てん化のためのシステム構築に関する研究（脳卒中地域医療における診療体制の現状調査）	宮本 享	脳神経外科	1,000,000	補 委 (独)国立循環器病研究センター
脳血管内治療の実態把握のためのシステム開発に関する研究（国内の脳血管内治療の登録システムの構築に関する研究）	宮本 享	脳神経外科	600,000	補 委 (独)国立循環器病研究センター
平面培養の時間的三次元化と機能性高分子複合化技術による弾性線維再生医療の実用化	鈴木 茂彦	形成外科	6,890,000	補 委 文部科学省
機能性人工真皮の開発及び難治性皮膚疾患への応用	河合 勝也	形成外科	4,550,000	補 委 文部科学省
マトリックスプロテアーゼHtrA1によるケロイド組織の浸潤メカニズム	内藤 素子	形成外科	5,200,000	補 委 文部科学省
ヒト真皮由来多能性細胞の効率的採取法の検討と創傷治癒への応用	吉川 勝宇	形成外科	4,290,000	補 委 文部科学省
生体吸収性ハイドロゲル粒子混合細胞集合体を用いた三次元培養による軟骨再生法	河合 勝也	形成外科	3,770,000	補 委 文部科学省
巨指症発症メカニズムの解明	石河 利広	形成外科	3,640,000	補 委 文部科学省
マイクロRNAを用いた血管細胞分化増殖制御による新規心血管治療法の開発	南方 謙二	心臓血管外科	5,460,000	補 委 文部科学省
多能性幹細胞由来心筋シートによる心機能改善機序の解明および心不全治療創薬への応用	坂田 隆造	心臓血管外科	6,890,000	補 委 文部科学省
細胞シート工学を応用した幹細胞移植と増殖因子徐放を併用した心不全治療	池田 義	心臓血管外科	1,170,000	補 委 文部科学省
肺動脈弁閉鎖不全による右心室機能低下の可逆性に関する研究	中田 朋宏	心臓血管外科	5,460,000	補 委 文部科学省
植物由来の新しい生体接着剤を用いた止血・癒着・感染予防の研究	武田 崇秀	心臓血管外科	5,330,000	補 委 文部科学省
生体内呼吸性高分子担体と細胞増殖因子を用いた難治性虚血性疾患に対する新しい再生医療の開発：オーダーメイド医療の実現に向けた検討	坂田 隆造	心臓血管外科	65,000,000	補 委 厚生労働省
低侵襲心臓血管治療普及拡大を目的とした長時間留置可能な抗血栓性血栓捕捉フィルターデバイスの開発及び製品化	坂田 隆造	心臓血管外科	3,878,782	補 委 東レ株式会社 (経産省再委託)
肺移植臨床応用をめざした心停止ドナー肺の体外循環装置による肺傷害修復	伊達 洋至	呼吸器外科	6,760,000	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
A L Kフュージョンの新規パートナー遺伝子の検索	園部 誠	呼吸器外科	650,000	補委 文部科学省
改良型E T K液による肺持続灌流保存の前臨床研究	板東 徹	呼吸器外科	5,200,000	補委 文部科学省
強制オシレーション法を用いた肺移植後急性肺拒絶評価法の基礎的研究	阪井 宏彰	呼吸器外科	5,330,000	補委 文部科学省
生体・脳死肺移植におけるメモリー細胞と制御性T細胞／T h T h 1 7バランスの解析	青山 晃博	呼吸器外科	5,330,000	補委 文部科学省
体外肺灌流技術を用いた、傷害のあるドナー肺の評価とその治療への挑戦	陳 豊史	呼吸器外科	6,630,000	補委 文部科学省
肺移植後肺内リンパ組織新生が抗ドナー抗体局所産生により慢性拒絶に果たす役割	佐藤 雅昭	呼吸器外科	4,160,000	補委 文部科学省
肺扁平上皮癌に対するF G F R抑制ベクター遺伝子治療	伊達 洋至	呼吸器外科	3,640,000	補委 文部科学省
代謝型グルタミン酸受容体を介した新規細胞内シグナル伝達系の解析	森吉 弘毅	病理診断部	1,430,000	補委 文部科学省
ヒト・マスト細胞に発現するNK細胞受容体KIR2DL4の解析	片岡 竜貴	病理診断部	5,200,000	補委 文部科学省
肝移植後の肝細胞キメリズムの成立とグラフトの老化	宮川 文	病理診断部	4,550,000	補委 文部科学省
睡眠時無呼吸における遺伝子多型と細胞の低酸素反応	坪井 知正	呼吸管理睡眠制御学	780,000	補委 文部科学省
難治性肺疾患におけるm D i aの役割の解析	小賀 徹	呼吸管理睡眠制御学	650,000	補委 文部科学省
睡眠時無呼吸患者の血管内皮障害及び早期腎障害マーカーとしてのN g a lの確立	吉村 力	呼吸管理睡眠制御学	5,460,000	補委 文部科学省
間欠的および持続的酸素濃度操作による多能性幹細胞の特質変化法の開発	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学	3,640,000	補委 文部科学省
肥満残存高血圧合併睡眠時無呼吸患者に対する防風通聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の解明	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学	7,920,000	補委 厚生労働省
D o u b l e I R法による中枢神経病変検出の最適化と臨床的有用性の検討	金柿 光憲	放射線部	4,290,000	補委 文部科学省
実際の撮像環境条件をも含んだMRIパルスシーケンスシミュレーションシステムの構築	藤本 晃司	放射線部	4,290,000	補委 文部科学省
乳房領域における高分解能拡散強調画像の臨床応用	金尾 昌太郎	放射線部	4,030,000	補委 文部科学省
C M L幹細胞の特異的代謝経路と転写因子制御を標的とした新規治療法の開発	前川 平	輸血細胞治療部	10,270,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
間葉系幹細胞の薬物的機能賦活を利用した臍帯血細胞移植技術の改良	三浦 康生	輸血細胞治療部	1,560,000	補委 文部科学省
骨髄低酸素環境における骨髄腫幹細胞の解析と治療標的分子同定	前川 平	輸血細胞治療部	4,420,000	補委 文部科学省
薬物刺激間葉系幹細胞を用いたDual Stem Cell Therapyの開発	前川 平	輸血細胞治療部	3,640,000	補委 文部科学省
慢性白血病治療薬の開発(23-A-23) 小林班	前川 平	輸血細胞治療部	500,000	補委 (独) 国立がん研究センター
微小環境に注目したがんの治療戦略開発	前川 平	輸血細胞治療部	3,300,000	補委 文部科学省
肝移植症例の臨床像からのB型肝炎ウイルスの感染様式の解明	上田 佳秀	臓器移植医療部	5,070,000	補委 文部科学省
形質転換を図った肝前駆細胞移植による肝不全治療法の開発に関する研究	水本 雅己	臓器移植医療部	1,950,000	補委 文部科学省
血液型不適合肝移植術後患者の免疫寛容状態の解析	吉澤 淳	臓器移植医療部	5,460,000	補委 文部科学省
微小環境構築と転写ネットワーク解析による免疫反応制御の分子機構解明	清水 章	探索医療センター	1,560,000	補委 文部科学省
遺伝子変異ラットを用いた新しいレプチン作用解析系の確立	阿部 恵	探索医療センター	1,300,000	補委 文部科学省
クラススイッチ組換え制御によるアレルギー制御・治療法の探索	清水 章	探索医療センター	3,900,000	補委 文部科学省
新規CD8T細胞分化機構の腫瘍免疫・自己免疫疾患治療への応用	菅井 学	探索医療センター	3,900,000	補委 文部科学省
新規マクロファージ活性化制御分子EPRAPの機能解析	南 学	探索医療センター	5,200,000	補委 文部科学省
電子カルテ二次利用による臨床試験・試験シミュレーションシステムの開発とその評価	角 栄里子	探索医療センター	4,290,000	補委 文部科学省
インフォームド・コンセントの内省と自己学習を促すための観察研究	八田 太一	探索医療センター	4,420,000	補委 文部科学省
新規誘導型制御性CD8T細胞の免疫反応・免疫寛容制御機構の解析	菅井 学	探索医療センター	5,460,000	補委 文部科学省
パーキンソン病に対する幹細胞移植治療の実現化	清水 章	探索医療センター	8,658,000	補委 文部科学省
低温ショック蛋白質の精子形成における役割に関する研究	藤田 潤	遺伝子診療部	5,330,000	補委 文部科学省
東アジア地域における遺伝学的検査・生殖医療に関わる意識の調査研究	沼部 博直	遺伝子診療部	5,590,000	補委 文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intern Med. 51(8): P917-20, 2012	A case of congenital dyserythropoietic anemia type 1 in a Japanese adult with a CDAN1 gene mutation and an inappropriately low serum hepcidin-25 level	川端 浩	血液・腫瘍内科
Intern Med. 51(11): P1387-92, 2012	A case of follicular lymphoma associated with paraneoplastic cerebellar degeneration	島津 弥生	血液・腫瘍内科
J Clin Exp Hematop. 52(2): P107-11, 2012	Leukemic manifestation of blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm lacking skin lesion: a borderline case between acute monocytic leukemia	瀧内 曜子	血液・腫瘍内科
Bone Marrow Transplant. 47(9): 1252-3, 2012	Successful use of second cord blood transplantation to achieve long-term remission in cord blood donor cell-derived AML harboring a FLT3-ITD and an NPM1 mutation	蝶名林 和久	血液・腫瘍内科
Tohoku J Exp Med. 228(4): 295-9, 2012	Splenic irradiation as a component of a reduced-intensity conditioning regimen for hematopoietic stem cell transplantation in myelofibrosis with massive splenomegaly	伊藤 健	血液・腫瘍内科
Cancer Cell. 22(2): P194-208, 2012	H2.0-like homeobox regulates early hematopoiesis and promotes acute myeloid leukemia	河原 真大	血液・腫瘍内科
Int J Hematol. 96(6): 701-9, 2012	Acidic milieu augments the expression of hepcidin, the central regulator of iron homeostasis	川端 浩	血液・腫瘍内科
Sci Rep. 2: P806, 2012	APOBEC3B can impair genomic stability by inducing base substitutions in genomic DNA in human cells	篠原 正信	血液・腫瘍内科
Leukemia. 27(6): P1433-6, 2013	Direct binding of Grb2 has an important role in the development of myeloproliferative disease induced by ETV6/FLT3	蝶名林 和久	血液・腫瘍内科
Eur J Immunol. 43(1): 93-103, 2013	The tyrosine kinase inhibitor dasatinib suppresses cytokine production by plasmacytoid dendritic cells by targeting endosomal transport of CpG DNA	藤田 晴之	血液・腫瘍内科
Int J Hematol. 97(1): 109-16, 2013	Differing impacts of pretransplant serum ferritin and C-reactive protein levels on the incidence of chronic graft-versus-host disease after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	坂本 宗一郎	血液・腫瘍内科
PLOS ONE 2013;8(1):e53233	Direct Immunochemiluminescent Assay for proBNP and Total BNP in Human Plasma proBNP and Total BNP Levels in Normal and Heart Failure	錦見 俊雄	内分泌代謝内科
Circulation. 2012 Jan 31;125(4):584-91.	Very late stent thrombosis and late target lesion revascularization after sirolimus-eluting stent implantation: five-year outcome of the J-Cypher Registry.	木村 剛	循環器内科
Circulation. 2012 Sep 4;126(10):1225-1236.	Comparison of Everolimus-Eluting and Sirolimus-Eluting Coronary Stents: 1-Year Outcomes from the Randomized Evaluation of Sirolimus-Eluting Versus Everolimus-Eluting Stent Trial (RESET).	木村 剛	循環器内科
Cardiovasc Interv Ther. 2012 Sep;27(3):181-8.	Antiplatelet therapy and long-term clinical outcome after sirolimus-eluting stent implantation: 5-year outcome of the J-Cypher registry.	木村 剛	循環器内科
J Invasive Cardiol. 2012 Apr;24(4):159-63.	A novel method to deliver the Filtrap coronary embolic protection filter using a manual thrombectomy catheter: in vitro and in vivo comparison with the conventional method.	渡邊 真	循環器内科
BMJ. 2012 May 23;344:e3257.	Association of onset to balloon and door to balloon time with long term clinical outcome in patients with ST elevation acute myocardial infarction having primary percutaneous coronary intervention: observational study.	塩見 紘樹	循環器内科
Cardiovasc Interv Ther. 2012 May; 27(2):84-92.	Comparison of 3-year clinical outcomes after transradial versus transfemoral percutaneous coronary intervention.	夏秋 政浩	循環器内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Am J Cardiol. 2012 May 15;109(10):1387-96.	Impact of statin therapy on late target lesion revascularization after sirolimus-eluting stent implantation (from the CREDO-Kyoto Registry Cohort-2).	夏秋 政浩	循環器内科
Am J Cardiol. 2012 Dec 1;110(11):1568-77.	Renal function and effect of statin therapy on cardiovascular outcomes in patients undergoing coronary revascularization (from the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2).	夏秋 政浩	循環器内科
Circ J. 2012;76(8):1889-94.	Effects of machine-assisted cycling on exercise capacity and endothelial function in elderly patients with heartfailure.	小笹 寧子	循環器内科
Circ J. 2012;76(8):1889-94. Epub 2012 May 16.	Renal Function and Effect of Statin Therapy on Cardiovascular Outcomes in Patients Undergoing Coronary Revascularization (from the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2). x	夏秋 政浩	循環器内科
Am J Cardiol. 2012 Oct 1;110(7):924-32.	Comparison of Long-Term Outcome After Percutaneous Coronary Intervention Versus Coronary Artery Bypass Grafting in Patients With Unprotected Left Main Coronary Artery Disease (from the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2).	塩見 紘樹	循環器内科
循環制御. 2012; 33(1): 2-12.	薬剤溶出性ステントを用いたPCIの進歩.	木村 剛	循環器内科
日本内科学会雑誌. 2012; 101(9): 2571-2578.	我が国の内科領域のトランスレーショナルリサーチとEBM - EBm 日本の循環器領域のEBM構築への模索.	木村 剛	循環器内科
J Viral Hepat 19:32- 38:2012.	Effect of maintenance therapy with low-dose peginterferon for recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation	Ueda Yoshihide	消化器内科
Cancer Chemother Pharmacol 69:65- 70:2012.	Dose-escalation and pharmacokinetic study of nanoparticle curcumin, a potential anticancer agent with improved bioavailability, in healthy human volunteers	Kanai Masashi	消化器内科
Eur J Radiol 81:43- 46:2012.	Hepatic arterial perfusion increases in the early stage of severe acute pancreatitis patients: Evaluation by perfusion computed tomography	Koyasu Sho	消化器内科
Int J Inflamm 2012 article ID 497386;	Pancreatic perfusion CT in early stage of severe acute pancreatitis	Tsuji Yoshihisa	消化器内科
Gastrointest Endosc 75:965-972:2012.	Usefulness of endoscopic radial incision and cutting method for refractory esophagogastric anastomotic stricture (with video)	Muto Manabu	消化器内科
PLoS ONE 7:e38308:2012.	Tissue damage in the canine normal esophagus by photoactivation of taraporfin sodium (Laserphyrin): A preclinical study	Horimatsu Takahiro	消化器内科
Lancet 380:2052:2012.	Mediterranean mimicker	Arasawa Souichi	消化器内科
Hepatol Res 43:67- 71:2013.	Efficacy and safety of prophylaxis with entecavir and hepatitis B immunoglobulin in preventing hepatitis B recurrence after living-donor liver transplantation	Ueda Yoshihide	消化器内科
Clin Pharmacokinet. 2013 Mar 27	Population Pharmacokinetics/Pharmacodynamics of Erlotinib and Pharmacogenomic Analysis of Plasma and Cerebrospinal Fluid Drug Concentrations in Japanese Patients with	Togashi Y	呼吸器内科
Cancer Chemother Pharmacol. 2013 Mar 27	Phase II study of pemetrexed as first-line treatment in elderly (≥75) non-squamous non-small-cell lung cancer: Kyoto Thoracic Oncology Research Group Trial 0901.	Kim YH	呼吸器内科
Ann Allergy Asthma Immunol. 2013 May;110(5):387-8.	Efficacy of omalizumab in eosinophilic chronic rhinosinusitis patients with asthma.	Tajiri T	呼吸器内科
Ann Allergy Asthma Immunol. 2013 Mar;110(3):198-203. e3.	Effects of 24-week add-on treatment with ciclesonide and montelukast on small airways inflammation in asthma.	Nakaji H	呼吸器内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Oncol Lett. 2013 Mar;5(3):972-974.	Continuous morphine infusion for end-stage lung cancer patients.	Kim YH	呼吸器内科
Oncol Lett. 2013 Feb;5(2):601-604	Pneumocystis jiroveci pneumonia and colonization in patients with advanced lung cancer.	Togashi Y	呼吸器内科
PLoS One. 2012;7(11).	Correction: Longitudinal Study of Spatially Heterogeneous Emphysema Progression in Current Smokers with Chronic Obstructive Pulmonary Disease.	Tanabe N	呼吸器内科
Oncology. 2013 Jan 24;84(4):214-218	Effect of the BCL2 Gene Polymorphism on Survival in Advanced-Stage Non-Small Cell Lung Cancer Patients Who Received Chemotherapy.	Masago K	呼吸器内科
Respir Med. 2012 Oct 25	Impaired endothelium-dependent vasodilator response in patients with pulmonary fibrosis.	Aihara K	呼吸器内科
PLoS One. 2012;7(9):e44993.	Longitudinal study of spatially heterogeneous emphysema progression in current smokers with chronic obstructive pulmonary disease.	Tanabe N	呼吸器内科
Cancer Chemother Pharmacol. 2012 Jul 18.	Cerebrospinal fluid concentration of gefitinib and erlotinib in patients with non-small cell lung cancer.	Togashi Y	呼吸器内科
PLoS One. 2012;7(7):e40570.	Relationship between Periodontitis-Related Antibody and Frequent Exacerbations in Chronic Obstructive Pulmonary Disease.	Takahashi T	呼吸器内科
Respirology. 2012 Jul 4.	Peri-diaphragmatic lung volume assessed by computed tomography correlates with quality of life in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Tanabe N	呼吸器内科
Cancer Chemother Pharmacol. 2012 Jun 30.	Phase II study of carboplatin and pemetrexed in advanced non-squamous, non-small-cell lung cancer: Kyoto Thoracic Oncology Research Group Trial 0902.	Kim YH	呼吸器内科
Arch Intern Med. 2012 Jun 11;172(11):878-86.	A randomized, placebo-controlled trial of acupuncture in patients with chronic obstructive pulmonary disease (COPD): the COPD-acupuncture trial (CAT).	Suzuki S	呼吸器内科
Eur J Radiol. 2012 Jun;81(6):1340-6. Epub 2011 May 7.	Differentiation between Birt-Hogg-Dubé syndrome and lymphangiomyomatosis: quantitative analysis of pulmonary cysts on computed tomography of the chest in 66 females.	Tobino K	呼吸器内科
Clin Microbiol Infect. 2012 May 30.	Genetic relatedness of Mycobacterium avium-intracellulare complex isolates from patients with pulmonary MAC disease and their residential soils.	Fujita K	呼吸器内科
Lung Cancer. 2012 May 11	Successful erlotinib rechallenge for leptomeningeal metastases of lung adenocarcinoma after erlotinib-induced interstitial lung disease: A case report and review of the literature	Togashi Y	呼吸器内科
Int J Oncol. 2012 Jul;41(1):24-30.	Nitric oxide (NO) enhances pemetrexed cytotoxicity via NO-cGMP signaling in lung adenocarcinoma cells in vitro and in vivo.	Nagai H	呼吸器内科
Respir Res. 2012 Apr 18;13(1):31.	Emphysema distribution and annual changes in pulmonary function in male patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Tanabe N	呼吸器内科
COPD. 2012 Apr 18.	Computed tomography assessment of pharmacological lung volume reduction induced by bronchodilators in COPD	Tanabe N	呼吸器内科
Med Oncol. 2012 Apr 11.	Association between vascular-poor area of primary tumors and epidermal growth factor receptor gene status in advanced lung adenocarcinoma	Togashi Y	呼吸器内科
Cancer Sci. 2012 Jun;103(6):1065-70.	Increase in circulating endothelial progenitor cells predicts response in patients with advanced non-small-cell lung cancer	Sakamori Y	呼吸器内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Clin Lung Cancer. 2012 Jul;13(4):304-11.	Prognostic significance of preexisting interstitial lung disease in Japanese patients with small-cell lung cancer.	Togashi Y	呼吸器内科
Respiration. 2012;83(4):308-15	Clinical, physiological and anti-inflammatory effect of montelukast in patients with cough variant asthma.	Takemura M	呼吸器内科
Heart Lung. 2012 May;41(3):290-3	Pulmonary hemorrhage induced by epileptic seizure.	Azuma M	呼吸器内科
Respiration. 2012;83(6):507-19.	Sputum YKL-40 Levels and Pathophysiology of Asthma and Chronic Obstructive Pulmonary Disease.	Otsuka K	呼吸器内科
COPD. 2012 Jun;9(3):235-42	Impact of COPD exacerbations on osteoporosis assessed by chest CT scan.	Kiyokawa H	呼吸器内科
PLoS Genet. 8(1):e1002455, 2012	A Genome-Wide Association Study Identified AFF1 as a Susceptibility Locus for Systemic Lupus Erythematosus in Japanese.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Curr Rheumatol Rep 14(3):264-74, 2012.	Interstitial lung disease in myositis: Clinical subsets, biomarkers, and treatment.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Nat Genet. 44(5):511-6, 2012.	Meta-analysis identifies nine new loci associated with rheumatoid arthritis in the Japanese population.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Arthritis Res Ther. 14(2):R86, 2012.	Serum BAFF and APRIL levels in patients with IgG4-related disease and their clinical significance.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Ann Rheum Dis. 71(6):1095-7, 2012.	Quantitative effect of HLA-DRB1 alleles to ACPA levels in Japanese rheumatoid arthritis: no strong genetic impact of shared epitope to ACPA levels after stratification of HLA-DRB1*09:01.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Inflammation and Regeneration 32(3):90- 98, 2012	Recent advances on the genetics of rheumatoid arthritis: Current topics and the future.	Mimori T	免疫・膠原病内科
PLoS One. 7(7):e40067, 2012. Epub 2012 Jul 6.	ACPA-negative RA consists of two genetically distinct subsets based on RF positivity in Japanese.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Mod Rheumatol. 22(5):685-94, 2012.	NEFA/nucleobindin-2 is a target autoantigen of the anti-Wa antibody and is associated with transfer RNA.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Clin Exp Immunol 170(1): 94-100, 2012.	Type I interferon induces CX3CL1 (fractalkine) and CCL5 (RANTES) production in human pulmonary vascular endothelial cells.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Ageing Research Reviews 12(2013) 376-390.	Oxidative stress and cancer: an overview	近藤祥司	老年内科
Histol. Histopathol. 27(3): 317- 328, 2012.	ABCA17 mediates sterol efflux from mouse spermatozoa plasma membranes.	Morales CR	糖尿病・栄養内科
Int J Clin Pract. 66(5): 465-476, 2012.	Sitagliptin add-on to low dosage sulphonylureas: efficacy and safety of combination therapy on glycemic control and insulin secretion capacity in type 2 diabetes	Harashima S	糖尿病・栄養内科
AM J Med Sci. 343(3):210-214, 2012.	Hereditary angioedema in Japan: genetic analysis of 13 unrelated cases	Yamamoto T	糖尿病・栄養内科
Br J Pharmacol. 166(3):1183-1191, 2012.	Loss of multidrug and toxin extrusion 1 (MATE1) is associated with metformin-induced lactic acidosis.	Toyama K	糖尿病・栄養内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
FEBS Lett. 586(23):4076-4081, 2012.	SIRT5 deacetylates and activates urate oxidase in liver mitochondria of mice.	Nakamura Y	糖尿病・栄養内科
Hum. Mol. Genet. 21(4):765-775, 2012.	Molecular and cellular characteristics of ABCA3 mutation associated with diffuse parenchymal lung diseases in children.	Flamein F	糖尿病・栄養内科
Diabetes Obes. Metab. 14(4):348-357, 2012.	Linagliptin monotherapy provides superior glycaemic control versus placebo or voglibose with comparable safety in Japanese patients with type 2 diabetes: a randomized, placebo and active comparator-controlled, double-blind study.	Kawamori R	糖尿病・栄養内科
J. Diabetes Invest. 3(4):377-383, 2012.	Insulin secretory capacity and insulin sensitivity in impaired fasting glucose in Japanese.	Mitsui R	糖尿病・栄養内科
J. Diabetes Invest. 3(5):432-440, 2012.	Ingestion of a moderate high-sucrose diet results in glucose intolerance with reduced liver glucokinase activity and impaired glucagon-like peptide-1 secretion.	Sakamoto E	糖尿病・栄養内科
PLoS ONE . 7(12):e52148, 2012.	BK channels reveal novel phosphate sensitivity in SNr neurons.	Ji JJ	糖尿病・栄養内科
Clin. Ther. 34(9):1892-1908, 2012.	Efficacy and safety profile of exenatide once weekly compared with insulin once daily in Japanese patients with type 2 diabetes treated with oral antidiabetic drug(s): results from a 26-week, randomized, open-label, parallel group, multicenter, noninferiority study.	Inagaki N	糖尿病・栄養内科
Horm Metab Res. 45(3):231-238, 2013.	Efficacy and safety of switching from basal insulin to sitagliptin in Japanese type 2 diabetes patients.	Harashima S	糖尿病・栄養内科
Diabetes Metab Res Rev. 29(1):77-84, 2013.	Self-monitoring of blood glucose (SMBG) improves glycemic control in oral hypoglycemic agents (OHA)-treated type 2 diabetes (SMBG-OHA Study)	Harashima S	糖尿病・栄養内科
J Biol Chem. 288(3):1929-1938, 2013.	Transcriptional Regulatory Factor X6 (Rfx6) Increases Gastric Inhibitory Polypeptide (GIP) Expression in Enteroendocrine K-cells and Is Involved in GIP Hypersecretion in High Fat Diet-induced Obesity.	Suzuki K	糖尿病・栄養内科
Nutrition. 29(3):549-555, 2013.	Enteral supplement enriched with glutamine, fiber, and oligosaccharide attenuates experimental colitis in mice.	Joo E	糖尿病・栄養内科
Cytotechnology. 65(1):105-118, 2013.	Development of novel cell lines of diabetic dysfunction model fit for cell-based screening tests of medicinal materials.	Saito M	糖尿病・栄養内科
糖尿病, 55(10):781-785, 2012.	全身性強皮症に合併したGAD抗体およびIA-2抗体陽性劇症1型糖尿病の1例	佐々木真弓	糖尿病・栄養内科
糖尿病, 55(12):966-972, 2012.	治療経過中に生じた血糖値不安定に対してCGMが有用であったインスリン抗体陽性糖尿病の1例	福島 徹	糖尿病・栄養内科
J UOEH 2012, 34 suppl:19-21	Emergency medical services at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant.	小池 薫	初期診療・救急科 【救急部】
Journal of Evaluation in Clinical Practice 2012, 18:389-95	Impact of Postgraduate Education on Physician Practice for Community-acquired Pneumonia.	小池 薫	初期診療・救急科 【救急部】
Emerg Med J Epub 8 January 2013	Direct relationship between aging and overcrowding in the ED, and a calculation formula for demand projection: a cross-sectional study.	西山 慶	初期診療・救急科 【救急部】
Resuscitation. 2012 Jan;83(1):46-50.	Regional cerebral oxygen saturation on hospital arrival is a potential novel predictor of neurological outcomes at hospital discharge in patients with out-of-hospital cardiac arrest.	西山 慶	初期診療・救急科 【救急部】
Resuscitation. 2012 May;83(5):e125-6.	A potential novel rule for therapeutic decision-making in the cardiocerebral resuscitation of patients with cardiac arrest on arrival.	西山 慶	初期診療・救急科 【救急部】

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Resuscitation. 2012 Aug;83(8):e167-8.	Bystander-initiated cardiopulmonary resuscitation can curb the deterioration of regional cerebral oxygen saturation on hospital arrival in patients with cardiac arrest.	西山 慶	初期診療・救急科 【救急部】
Japanese Journal of Acute Care Surgery 2:55-61, 2012.	献体による外傷手術臨床解剖学的研究会—日本版DSTSを目指して—	佐藤 格夫	初期診療・救急科 【救急部】
PLoS ONE 7(6):e38308:2012	Tissue damage in the canine normal esophagus by photoactivation with talaporfin sodium (laserphyrin): a preclinical study.	Takahiro Horimatsu	がん薬物治療科
Gastrointest Endosc 75(5):965-72:2012	Usefulness of endoscopic radial incision and cutting (RIC) method for refractory esophagogastric stricture	Manabu Muto	がん薬物治療科
Radiat Oncol. 7:1-7. 2012July23 (Epub)	Phase I study of photodynamic therapy using talaporfin sodium and diode laser for local failure after chemoradiotherapy for esophageal cancer.	Tomonori Yano	がん薬物治療科
Int J Cancer. 131(5):1228-1234. 2012	Photodynamic therapy as salvage treatment for local failure after chemoradiotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma: a phase II study.	Tomonori Yano	がん薬物治療科
Kidney International 83(2): P335-335, 2013	Physical finding of nutcracker phenomenon.	Takeshi Matsubara	腎臓内科
Nephrology Dialysis Transplantation 27(10): P3686-3691, 2012	Inhibitors/antagonists of the TGF- β system in kidney fibrosis.	Motoko Yanagita	腎臓内科
Therapeutic Apheresis and Dialysis 16(2): P189-194, 2012	Low Density Lipoprotein Apheresis Ameliorates Interferon- γ Production in Patients With Nephrotic Syndrome.	Hitomi Miyata	腎臓内科
BMC Med Inform Decis Mak 2012 Jun 13;12:54	Prediction of axillary lymph node metastasis in primary breast cancer patients using a decision tree-based model.	Takada M	乳腺外科
Breast Cancer Res Treat 2012 Jul;134(2):661-70	Predictions of the pathological response to neoadjuvant chemotherapy in patients with primary breast cancer using a data mining technique.	Takada M	乳腺外科
J Clin Endocrinol Metab. 2012;97(11):4182-92.	Alterations of Circulating Endothelial Cell and Endothelial Progenitor Cell Counts around the Ovulation.	Tanaka S	乳腺外科
J Hepatobiliary Pancreat 19: 638-649, 2012.	Living-donor liver transplantation for moderate to severe porto-pulmonary hypertension accompanied by pulmonary arterial hypertension: a single-center experience over 2 decades in Japan.	Ogawa E	肝胆膵・移植外科
Transplantation 93: 99- 105, 2012	Splenectomy does not offer immunological benefits in ABO-incompatible liver transplantation with a preoperative rituximab.	Raut V	肝胆膵・移植外科
Transpl Int 25: 97-106, 2012	Factors affecting operational tolerance after pediatric living-donor liver transplantation: impact of early post-transplant events and HLA match.	Ohe H	肝胆膵・移植外科
Liver Transp 18: 602- 607, 2012	Standard of hepatic vein reconstruction with patch plasty using native portal vein in adult living donor liver transplantation.	Mori A	肝胆膵・移植外科
Surgery 151: 55-60, 2012	Living donor liver transplantation for recurrence hepatocellular carcinoma after liver resection.	Kaido T	肝胆膵・移植外科
Clin Res Hepatol Gastroenterol	Left-side grafts for living-donor liver transplantation and split grafts for deceased-donor liver transplantation: their impact on long-term survival.	Hori T	肝胆膵・移植外科
World J Surg 36: 1666- 1671, 2012	Effects of post-transplant enteral nutrition with an immunomodulating diet containing hydrolyzed whey peptide after liver transplantation.	Kaido T	肝胆膵・移植外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Transplantation 93: e20-21, 2012	Use of recipient's left colic artery reconstruction during liver transplantation in Alagille syndrome with vasculopathy: a case report.	Shehata MR	肝胆膵・移植外科
Pediatr Surg Int 28: 855-859, 2012	The challenge of acute rejection in intestinal transplantation.	Yoshitoshi EY	肝胆膵・移植外科
Nutrition 28: 1104- 1108, 2012	Pre- and perioperative factors affecting infection after living donor liver transplantataion.	Kaido T	肝胆膵・移植外科
Clin Transplant 26: E324-334, 2012	How transplant surgeons can overcome the inevitable insufficiency of allograft size during living-donor liver transplantation: strategy for donor safety with a small-for-size graft and excellent recipient results.	Hori T	肝胆膵・移植外科
Sur Today Aug 25, 2012. Epub	An adult with primary hyoeroxaluria type 1 regrets not receiving preemptive liver transplantation during childhood: report of a case.	Hori T	肝胆膵・移植外科
Am J Transplant 12: 3406-3413, 2012	Pediatric liver transplantation using reduced and hyper-reduced left lateral segment grafts: a 10-year single-center experience.	Shehata MR	肝胆膵・移植外科
Hepatobiliary Pancreat Dis Int 11: 570-576, 2012.	Small-for-size syndrome in living donor liver transplantation.	Yagi S	肝胆膵・移植外科
Mol Vis. 2012;18:2726- 2735	Association of paired box 6 with high myopia in Japanese	Miyake M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:6668-6674	Segmentational analysis of retinal thickness after vitrectomy in diabetic macular edema	Murakami T	眼科
Clin Ophthalmol. 2012;6:837-844	Choroidal thickness after intravitreal ranibizumab injections for choroidal neovascularization	Ellabban AA	眼科
PLoS Genet. 2012;8:e1002753	Genetic variants on chromosome 1q41 influence ocular axial length and high myopia	Fan Q	眼科
PLoS One. 2012;7:e36135	Real-time imaging of rabbit retina with retinal degeneration by using spectral-domain optical coherence tomography	Muraoka Y	眼科
PLoS One. 2012;7:e33158	High-resolution imaging of the retinal nerve fiber layer in normal eyes using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	Takayama K	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:2349-2353	Vascular endothelial growth factor gene polymorphisms and choroidal neovascularization in highly myopic eyes	Akagi-Kurashige Y	眼科
Am J Ophthalmol. 2012;153:710-717, 717 e711	Association between hyperreflective foci in the outer retina, status of photoreceptor layer, and visual acuity in diabetic macular edema	Uji A	眼科
Retina. 2012;32:792-798	Changes in visual acuity and foveal photoreceptor integrity in eyes with chronic cystoid macular edema associated with retinal vein occlusion	Kurashige Y	眼科
J Cataract Refract Surg. 2012;38:1389-1397	Simultaneous increases in multiple proinflammatory cytokines in the aqueous humor in pseudophakic glaucomatous eyes	Inoue T	眼科
Eye (Lond). 2012;26:1086-1094	Tomographic fundus features in pseudoxanthoma elasticum: comparison with neovascular age-related macular degeneration in Japanese patients	Ellabban AA	眼科
Ophthalmology. 2012;119:1666-1678	Assessment of macular choroidal thickness by optical coherence tomography and angiographic changes in central serous chorioretinopathy	Jirarattanasopa P	眼科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2012;250:1129-1136	Relationship between retinal morphological findings and visual function in age-related macular degeneration	Akagi-Kurashige Y	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:794-798	Significance of C2/CFB variants in age-related macular degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy in a Japanese population	Nakata I	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:171-178	The source of moving particles in parafoveal capillaries detected by adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	Uji A	眼科
Am J Pathol. 2012;180:328-336	Low-dose-rate, low-dose irradiation delays neurodegeneration in a model of retinitis pigmentosa	Otani A	眼科
Am J Ophthalmol. 2012;153:68-80 e61	Treatment of polypoidal choroidal vasculopathy with photodynamic therapy combined with intravitreal injections of ranibizumab	Tomita K	眼科
Retina. 2012;32:77-85	Characteristics of optical coherence tomographic hyperreflective foci in retinal vein occlusion	Ogino K	眼科
Neuroimage. 2012;59:1324-1337	Reconstruction of flexor and extensor muscle activities from electroencephalography cortical currents	Yoshimura N	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:4805-4812	Wide 3-dimensional macular ganglion cell complex imaging with spectral-domain optical coherence tomography in glaucoma	Morooka S	眼科
Am J Ophthalmol. 2012;154:174-186 e172	Photoreceptor damage and foveal sensitivity in surgically closed macular holes: an adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy study	Ooto S	眼科
Am J Ophthalmol. 2012;154:125-136	Factors associated with the response of age-related macular degeneration to intravitreal ranibizumab treatment	Yamashiro K	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:4111-4119	In vivo imaging of lamina cribrosa pores by adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	Akagi T	眼科
Eye (Lond). 2012;26:771-780	Relationship between perifoveal capillaries and pathomorphology in macular oedema associated with branch retinal vein occlusion	Murakami T	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:3663-3672	Choroidal thickness, vascular hyperpermeability, and complement factor H in age-related macular degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy	Jirarattanasopa P	眼科
Am J Ophthalmol. 2012;153:1133-1143 e1131	Macular choroidal thickness and volume in eyes with angioid streaks measured by swept source optical coherence tomography	Ellabban AA	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:1506-1511	Optical coherence tomographic reflectivity of photoreceptors beneath cystoid spaces in diabetic macular edema	Murakami T	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:1576-1583	Automated assessment of drusen using three-dimensional spectral-domain optical coherence tomography	Iwama D	眼科
Br J Ophthalmol. 2012;96:390-393	Outer retinal circular structures in patients with Bietti crystalline retinopathy	Kojima H	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:3092-3103	The effect of Rho-associated protein kinase inhibitor on monkey Schlemm's canal endothelial cells	Kameda T	眼科
Ophthalmology. 2012;119:1047-1055	Relationship between fluorescein pooling and optical coherence tomographic reflectivity of cystoid spaces in diabetic macular edema	Horii T	眼科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2012;250:635-644	Retinal sensitivity after resolution of the macular edema associated with retinal vein occlusion	Ota M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:7735-7745	Macular choroidal thickness measured by swept source optical coherence tomography in eyes with inferior posterior staphyloma	El labban AA	眼科
Jpn J Ophthalmol. 2012;56:589-598	Visual prognosis of eyes with submacular hemorrhage associated with exudative age-related macular degeneration	Ueda-Arakawa N	眼科
Nat Rev Urol. 2012;9:628-637	Neurotrophins as regulators of urinary bladder function	Ochodnicky P	眼科
Exp Eye Res. 2012;104:39-47	Knockout of ccr2 alleviates photoreceptor cell death in a model of retinitis pigmentosa	Guo C	眼科
Indian J Ophthalmol. 2012;60:545-549	Contrast visual acuity in patients with retinitis pigmentosa assessed by a contrast sensitivity tester	Oishi M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:6904-6913	A novel method to detect local ganglion cell loss in early glaucoma using spectral-domain optical coherence tomography	Takayama K	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:6576-6581	Association of genetic variants on 8p21 and 4q12 with age-related macular degeneration in Asian populations	Nakata I	眼科
Retina. 2012;32:1973-1980	Retinal structural alterations and macular sensitivity in idiopathic macular telangiectasia type 1	Takayama K	眼科
Retina. 2012;32:1853-1861	Disrupted foveal photoreceptors after combined cystoid spaces and retinal detachment in branch vein occlusion treated with bevacizumab	Murakami T	眼科
J Glaucoma. 2012	Imaging of Localized Retinal Nerve Fiber Layer Defects in Preperimetric Glaucoma Using Spectral-domain Optical Coherence Tomography	Nukada M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:6472-6478	Retinal nerve fiber layer defects in highly myopic eyes with early glaucoma	Kimura Y	眼科
Am J Ophthalmol. 2012;154:542-548 e541	Association of ARMS2 genotype with bilateral involvement of exudative age-related macular degeneration	Tamura H	眼科
Hum Genet. 2012;131:1467-1480	Large scale international replication and meta-analysis study confirms association of the 15q14 locus with myopia. The CREAM consortium	Verhoeven VJ	眼科
Nihon Ronen Igakkai Zasshi. 2013;50:191-193	Locomotive syndrome: Osteoarthritis	Kawaguchi H	眼科
Mol Vis. 2013;19:1074-1081	Insulin-like growth factor 1 is not associated with high myopia in a large Japanese cohort	Miyake M	眼科
PLoS One. 2013;8:e63786	Objective assessment of foveal cone loss ratio in surgically closed macular holes using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	Yokota S	眼科
Clin Ophthalmol. 2013;7:663-666	Conjunctival extranodal marginal zone lymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue in the fornix: do not overlook conjunctival lymphomas	Hata M	眼科
Clin Ophthalmol. 2013;7:237-241	Subfoveal serous retinal detachment associated with extramacular branch retinal vein occlusion	Ota T	眼科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2013;251:1073-1080	Two-year outcome of photodynamic therapy combined with intravitreal injection of bevacizumab and triamcinolone acetonide for polypoidal choroidal vasculopathy	Nakata I	眼科
Can J Ophthalmol. 2013;48:e33-35	Case of simultaneous bilateral anterior ischemic optic neuropathy associated with Takayasu disease	Hata M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2013;54:2562-2570	Reproducibility of thickness measurements of macular inner retinal layers using SD-OCT with or without correction of ocular rotation	Hirasawa H	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2013;54:2417-2428	Tomographic features of macula after successful macular hole surgery	Nukada K	眼科
Retina. 2013;33:732-739	Association between fluorescein leakage and optical coherence tomographic characteristics of microaneurysms in diabetic retinopathy	Ito H	眼科
Retina. 2013;33:825-833	The time course changes of choroidal neovascularization in angioid streaks	Nakagawa S	眼科
Ophthalmology. 2013	Wide-Field Fundus Autofluorescence Imaging of Retinitis Pigmentosa	Oishi A	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2013;54:5424-5431	Clinical and immunological characterization of paraneoplastic retinopathy	Makiyama Y	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2013;251:2003-2012	Measurement of macular ganglion cell layer and circumpapillary retinal nerve fiber layer to detect paracentral scotoma in early glaucoma	Lee J	眼科
Am J Ophthalmol. 2013	Prevalence and Characteristics of Age-Related Macular Degeneration in the Japanese Population: The Nagahama Study	Nakata I	眼科
Ophthalmology. 2013	Association between Perifoveal Hyperfluorescence and Serous Retinal Detachment in Diabetic Macular Edema	Murakami T	眼科
Ophthalmology. 2013	Vascular Endothelial Growth Factor Gene and the Response to Anti-Vascular Endothelial Growth Factor Treatment for Choroidal Neovascularization in High Myopia	Miyake M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2013	Association between the Cholesteryl Ester Transfer Protein Gene and Polypoidal Choroidal Vasculopathy	Nakata I	眼科
Am J Ophthalmol. 2013	Reduction of Retinal Sensitivity in Eyes With Reticular Pseudodrusen	Ooto S	眼科
Am J Ophthalmol. 2013	Macular Structure Parameters as an Automated Indicator of Paracentral Scotoma in Early Glaucoma	Kimura Y	眼科
Retina. 2013	Association between Retinal Venular Dilation and Serous Retinal Detachment in Diabetic Macular Edema	Muraoka Y	眼科
Br J Ophthalmol. 2013;97:180-183	Horizontal deviation as diagnostic and prognostic values in isolated fourth nerve palsy	Hata M	眼科
Am J Ophthalmol. 2013;155:320-328 e322	Three-dimensional tomographic features of dome-shaped macula by swept-source optical coherence tomography	Ellabban AA	眼科
Am J Ophthalmol. 2013;155:260-269 e262	Prevalence and genomic association of reticular pseudodrusen in age-related macular degeneration	Ueda-Arakawa N	眼科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Ophthalmology. 2013;120:91-99	Morphologic and functional changes in retinal vessels associated with branch retinal vein occlusion	Muraoka Y	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2013;251:129-137	Frequency-doubling technology and retinal measurements with spectral-domain optical coherence tomography in preperimetric glaucoma	Hirashima T	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2013;251:1-7	Long-term effect of intravitreal injection of anti-VEGF agent for visual acuity and chorioretinal atrophy progression in myopic choroidal neovascularization	Oishi A	眼科
Nihon Ganka Gakkai Zasshi. 2013;117:12-18	[Genotype screening of retinal dystrophies in the Japanese population using a microarray]	Ogino K	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2013;54:629-635	Macular migration toward the optic disc after inner limiting membrane peeling for diabetic macular edema	Yoshikawa M	眼科
Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi. 2013;110:1304-1312	[A case of intraductal papillary mucinous carcinoma found with acute obstructive suppurative pancreatic ductitis and liver abscess, and associated with a pancreatobiliary fistula]	Nishie H	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2013;54:4798-4807	Three-dimensional imaging of lamina cribrosa defects in glaucoma using swept-source optical coherence tomography	Takayama K	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2013;54:4519-4526	Circle- and grid-wise analyses of peripapillary nerve fiber layers by spectral domain optical coherence tomography in early-stage glaucoma	Mayama C	眼科
Am J Ophthalmol. 2013	Focal Choroidal Excavation in Eyes With Central Serous Chorioretinopathy	Ellabban AA	眼科
Neurorol Urodyn. 2013	Central nervous targets for the treatment of bladder dysfunction	Yoshimura N	眼科
Am J Ophthalmol. 2013	Age- and Hypertension-Dependent Changes in Retinal Vessel Diameter and Wall Thickness: An Optical Coherence Tomography Study	Muraoka Y	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2013;54:4208-4212	Evaluation of pigment epithelium-derived factor and complement factor 1 polymorphisms as a cause of choroidal neovascularization in highly myopic eyes	Miyake M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2013;54:4394-4402	Noninvasive and direct monitoring of erythrocyte aggregates in human retinal microvasculature using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	Arichika S	眼科
Retina. 2013;33:1179-1187	Local biometric features and visual prognosis after surgery for treatment of myopic foveoschisis	Iida Y	眼科
Am J Ophthalmol. 2013;155:1045-1057 e1044	Comparison of cone pathologic changes in idiopathic macular telangiectasia types 1 and 2 using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	Ooto S	眼科
Neurorol Urodyn. 2013	Inhibitory role of the spinal cholinergic system in the control of urethral continence reflex during sneezing in rats	Yoshikawa S	眼科
Retina. 2013;33:490-497	Sensitivity and specificity of detecting reticular pseudodrusen in multimodal imaging in Japanese patients	Ueda-Arakawa N	眼科
Retina. 2013;33:642-648	Photoreceptor outer segment abnormalities and retinal sensitivity in acute zonal occult outer retinopathy	Wakazono T	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2013;54:3771-3779	Intravitreal injection of ranibizumab for recovery of macular function in eyes with subfoveal polypoidal choroidal vasculopathy	Ogino K	眼科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi. 2013;110:825- 832	[Gadolinium as an alternative radiocontrast agent in patients with allergy to iodine-based contrast provide for useful diagnostic imagings and safely treatment of biliary tract diseases]	Natsume M	眼科
Eye (Lond). 2013;27:597-604	Longitudinal analysis of the peripapillary retinal nerve fiber layer thinning in patients with retinitis pigmentosa	Oishi A	眼科
Jpn J Ophthalmol. 2013;57:275-282	Branch retinal vein occlusion-associated subretinal hemorrhage	Muraoka Y	眼科
Jpn J Ophthalmol. 2013;57:268-274	Concentric division of 10 degrees visual field tests in retinitis pigmentosa	Ogino K	眼科
Am J Ophthalmol. 2013;155:927-936	Peripapillary scleral deformation and retinal nerve fiber damage in high myopia assessed with swept-source optical coherence tomography	Akagi T	眼科
Am J Ophthalmol. 2013;155:870-881	High-resolution imaging of retinal nerve fiber bundles in glaucoma using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	Takayama K	眼科
Neurorol Urodyn. 2013;32:1026-1030	Supraspinal and spinal effects of L-trans- PDC, an inhibitor of glutamate transporter, on the micturition reflex in rats	Honda M	眼科
Am J Ophthalmol. 2013;156:511-523 e516	Macular imaging in highly myopic eyes with and without glaucoma	Nakano N	眼科
J Clin Immunol. 2012 Feb;32(1):39-49	Successful treatment with infliximab for inflammatory colitis in a patient with X- linked anhidrotic ectodermal dysplasia with immunodeficiency.	Mizukami T	小児科
Clin Endocrinol (Oxf). 2012 ;77(2):255-61	Hyperthyrotropinemia at 2 weeks of age indicates thyroid dysfunction and predicts the occurrence of delayed elevation of thyrotropin in very low birth weight infants.	Niwa F	小児科
DNA Res. 2012 ;19(2):143-52	Detection of base substitution-type somatic mosaicism of the NLRP3 gene with >99.9% statistical confidence by massively parallel sequencing.	Izawa K	小児科
Pediatr Allergy Immunol. 2012 ;23(3):250-4	Birth order effect on childhood food allergy.	Kusunoki T	小児科
J Clin Immunol. 2012 ;32(4):690-7	Multiple reversions of an IL2RG mutation restore T cell function in an X-linked severe combined immunodeficiency patient.	Kawai T	小児科
Blood. 2012 ;119(23):5458-66	Frequent somatic mosaicism of NEMO in T cells of patients with X-linked anhidrotic ectodermal dysplasia with immunodeficiency.	Kawai T	小児科
Hum Mutat. 2012 ;33(9):1377-87	Dominant-negative STAT1 SH2 domain mutations in unrelated patients with mendelian susceptibility to mycobacterial disease.	Tsumura M	小児科
Pediatr Int. 2012 Jun;54(3):422-3	Pediatric idiopathic TTP diagnosed with decreased ADAMTS13 activity.	Morishima T	小児科
Allergol Int. 2012 ;61(2):207-17	Diagnosis and treatment in anhidrotic ectodermal dysplasia with immunodeficiency.	Kawai T	小児科
Allergol Int. 2012 ;61(2):181-2	Primary immunodeficiency and related diseases.	Saito H	小児科
日本小児科学会雑誌 116(9):1337-1341、2012	クリオピリン関連周期性発熱症候群に対する生物 学的製剤治療の手引き (2012) カナキヌマブ	横田俊平	小児科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本臨床免疫学会雑誌 35:23-29、2012	クリオパイリン関連周期性発熱症候群に対するヒト化抗IL-1・モノクローナル抗体製剤カナキヌマブの効果	横田俊平	小児科
日本遺伝カウンセリング学会誌 33: 63-68, 2012.	原発性免疫不全症における臨床遺伝学 日本における自己炎症疾患の遺伝子診断について	西小森 隆太	小児科
Eur J Dermatol 22:531-536	Development of a disease-specific instrument to measure quality of life in patients with alopecia areata.	Endo, Y, et al	皮膚科
J Exp Med 209: 1743-1752	Chemokine-dependent T cell migration requires aquaporin-3 -mediated hydrogen peroxide uptake	Hara-Chikuma, M, et al	皮膚科
FASEB J 26: 211-218	Involvement of aquaporin-7 in the cutaneous primary immune response through modulation of antigen uptake and migration in dendritic cells.	Hara-Chikuma, M, et al	皮膚科
J Allergy Clin Immunol 129:536-543	PGD(2) induces eotaxin-3 via PPAR γ from sebocytes: A possible pathogenesis of eosinophilic pustular folliculitis.	Nakahigashi, K, et al	皮膚科
J Allergy Clin Immunol 129:1048-1055	Langerhans cells are critical in epicutaneous sensitization with protein antigen via thymic stromal lymphopoietin receptor signaling.	Nakajima, S, et al	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venerol 26: 1455-1456	Narrowband ultraviolet B phototherapy decreased the serum IL-17E level in a patient with psoriasis vulgaris.	Otsuka, A, et al	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venerol 26: 527-529	Comparison of basophil infiltration into the skin between eosinophilic pustular folliculitis and neutrophilic folliculitis.	Otsuka, A, et al	皮膚科
Acta Derm Venereol 92: 83-84	Characterization of peripheral natural killer cells and their reduction in drug-induced hyper-sensitivity syndrome.	Sugita, K, et al	皮膚科
Int Arch Allergy Immunol 158:191-195	Effects of Bepotastine and Fexofenadine on Histamine-Induced Flare, Wheal and Itch.	Tanizaki, H, et al	皮膚科
J Dermatol Sci 69:263-265	Skin tape stripping and cheek swab method for a detection of filaggrin.	Egawa, G, et al	皮膚科
Am J Pathol 182:841-851	Protease activity enhances production of thymic stromal lymphopoietin and basophil accumulation in flaky tail mice.	Moniaga, GS, et al	皮膚科
J Dermatol Sci 69:262-263	PCR-RFLP analysis for S2889X in filaggrin harbors the risk of a typing error.	Egawa, G, et al	皮膚科
Skin Pharmacol Physiol 26:22-29	Topical treatment with basic fibroblast growth factor promotes wound healing and barrier recovery induced by skin abrasion.	Nakamizo, S, et al	皮膚科
Acta Derm Venereol 93:118-119	Prostaglandin E2 increase in pachydermoperiostosis without 15-hydroprostaglandin dehydrogenase mutations.	Nakahigashi, K, et al	皮膚科
PLoS One. 2013;8(1):e49709	The transcription factor Sp3 regulates the expression of a metastasis-related marker of sarcoma, actin filament-associated protein 1-like 1 (AFAP1L1).	Kajita Y	泌尿器科
FEBS Lett. 2013 Jan 4;587(1):98-103.	Role of Rev-erb α domains for transactivation of the connexin43 promoter with Sp1.	Negoro H	泌尿器科
PLoS One. 2012;7(10):e46454.	Reproducibility, performance, and clinical utility of a genetic risk prediction model for prostate cancer in Japanese.	Ogawa O	泌尿器科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Eur Urol. 2013 Apr;63(4):745-52.	STAT3 polymorphism can predict the response to interferon- α therapy in patients with metastatic renal cell carcinoma.	Ogawa O	泌尿器科
Cancer Sci. 2012 Nov;103(11):2027-37.	Tumor microvasculature with endothelial fenestrations in VHL null clear cell renal cell carcinomas as a potent target of anti-angiogenic therapy.	Ogawa O	泌尿器科
Nat Commun. 2012 May 1;3:809.	Involvement of urinary bladder Connexin43 and the circadian clock in coordination of diurnal micturition rhythm.	Ogawa O	泌尿器科
Oncogene. 2013 Feb 14;32(7):894-902.	Downregulation of Ral GTPase-activating protein promotes tumor invasion and metastasis of bladder cancer.	Ogawa O	泌尿器科
Acta Otolaryngol. 132(4):420-7	Cochlear implantation in children with congenital cytomegalovirus infection accompanied by psycho-neurological disorders.	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科
Ann Otol Rhinol Laryngol. 121(12):804-10.	Expression of reactive oxygen species during wound healing of vocal folds in a rat model.	水田 匡信	耳鼻咽喉科
Audiology Japan 55巻2号 138-145	人工内耳装用学童児の聴き取り能力における教室音環境の影響.	森 尚彫	耳鼻咽喉科
Audiology Japan 55巻3号 190-197	成人人工内耳長期装用例における装用閾値と後迷路機能.	森 尚彫	耳鼻咽喉科
Case Rep Otolaryngol. 2013;2013:734131. doi: 10.1155/2013/734131. Epub	Systemic steroid application caused sudden death of a patient with sudden deafness.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
Cell Transplant. 21(4):763-71.	Fates of murine pluripotent stem cell-derived neural progenitors following transplantation into mouse cochleae.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
Equilibrium Research 71巻2号 87-95	頸性めまい症例における重心動揺検査の特徴的検査所見の検討.	田浦 晶子	耳鼻咽喉科
Hear Res. 289(1-2):40-51.	Localization of septin proteins in the mouse cochlea.	山本 典生	耳鼻咽喉科
Laryngoscope. 122(6):1392-6.	Effect of cisplatin on distortion product otoacoustic emissions in Japanese patients.	山本 典生	耳鼻咽喉科
Laryngoscope. 122(10):2154-7.	An endoscopic endonasal surgery training model using quail eggs.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
Laryngoscope. 122(11):2503-10.	Role of circulating MSCs in vocal fold wound healing.	水田 匡信	耳鼻咽喉科
Laryngoscope. 123(2):472-6	Improvement of eustachian tube function by tissue-engineered regeneration of mastoid air cells.	平海 晴一	耳鼻咽喉科
Mol Cell Neurosci 56C、29-38	Insulin-like growth factor 1 inhibits hair cell apoptosis and promotes the cell cycle of supporting cells by activating different downstream cascades after pharmacological hair cell injury in neonatal mice	林 裕史	耳鼻咽喉科
Neuropharmacology. 62(4):1841-7.	Role of PGE-type receptor 4 in auditory function and noise-induced hearing loss in mice.	山本 典生	耳鼻咽喉科
Otol Neurotol. 33(6):941-6.	Audiometric outcomes of topical IGF1 treatment for sudden deafness refractory to systemic steroids.	中川 隆之	耳鼻咽喉科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Otology Japan 22巻5号 923-926	【耳科診療における新技術】 超微細加工技術を用いた埋め込み型聴覚デバイス開発 人工感覚上皮開発.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
PLoS One 7(10):e48544	Identification of tympanic border cells as slow-cycling cells in the cochlea.	谷口 美玲	耳鼻咽喉科
音声言語医学 53巻3号 229-235	癥痕声帯・声帯溝症に対する音声治療の検討.	平野 滋	耳鼻咽喉科
喉頭 24巻2号 90-92	明日から役立つ臨床の技!これからの専門医育成のために マイクロフラップ手術.	平野 滋	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 84巻5号 185-190	【最新の診療NAVI 日常診療必携】 炎症・感染症診療NAVI 鼻副鼻腔炎.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 105巻4号 404-405	側頭骨・頭蓋底外科の基本手技.	平海 晴一	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 105巻4号 393-402	頭頸部扁平上皮癌の分子生物学.	石川 征司	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 105巻5号 453-456	咽後膿瘍類似の所見を呈した川崎病例.	平野 滋	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 補冊132 Page54-56	新しい埋め込み型聴覚補助機器の開発.	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 105巻7号 675-679	肺腺癌声門下転移例.	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 105巻10号 951-955	眼窩尖圧迫を呈した蝶形骨線維性骨異形成症例.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 105巻10号 981-987	甲状腺原発乳頭癌と肺原発低分化腺癌同一リンパ節転移例.	北村 守正	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 106巻3号 p261-265	気管内異所性甲状腺例.	北村 守正	耳鼻咽喉科
頭頸部外科 22巻1号 19-21	声帯のマイクロフラップ手術.	平野 滋	耳鼻咽喉科
頭頸部外科 22巻1号 23-27	鼻内内視鏡手術.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 38巻1号 106-110	京都大学がん診療部における他施設キャンサーボードの頭頸部癌診療に対する効果	平野 滋	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 38巻3号 363-367	PGAチューブによる反回神経再建を施行した甲状腺癌長期経過の一症例.	平野 滋	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 38巻4号 447-453	京都大学がん診療部における局所進行喉頭癌に対する喉頭温存治療の取り組み.	平野 滋	耳鼻咽喉科
頭頸部自律神経 26巻 20-23	起立性低血圧症の眼球運動所見についての検討.	田浦 晶子	耳鼻咽喉科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本鼻科学会会誌 51巻4号 474-480	嗅神経芽細胞腫に対する内視鏡下経鼻手術 その術式の検討.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
Acta Orthop. 83(6): p599-603, 2012	Good short-term outcome of primary total hip arthroplasty with cementless bioactive glass ceramic bottom-coated implants: 109 hips followed for 3-9 years	So K	整形外科
Arthritis Rheum. 64(4): p1024-1034, 2012	Lectin-like oxidized LDL receptor-1 signal is a potent biomarker and therapeutic target for human rheumatoid arthritis	Ishikawa M	整形外科
Eur Spine J. 21(2): p328-334, 2012	Mechanical implant failure in posterior cervical spine fusion	Okamoto T	整形外科
Spine J. 21(2): p340- 346, 2012	Clinical results of and patient satisfaction with cervical laminoplasty for considerable cord compression with only slight myelopathy	Neo M	整形外科
J Biomater and Nanobiotech. 3(2): p169-177, 2012	Local application of alendronate on β -Tricalcium phosphate accelerated induction of osteogenesis with formation of giant osteoclast-like cell	Fukuda C	整形外科
J Mater Sci Mater Med. 23(12): p2981-2992, 2012	Bone-bonding properties of Ti metal subjected to acid and heat treatments	Kawai T	整形外科
Journal of Orthopaedic Biomaterials. No31: p11-13	正電荷を持つチタンインプラントの骨伝導性	河井利之	整形外科
Journal of Orthopaedic Biomaterials. No31: p15-18	低弾性型チタン合金「ゴムメタル」の骨結合能評価	田中真砂史	整形外科
Key Eng Mater. No493-494: p787-790	Enhanced osteoconductivity of positively charged titanium metal	Kawai T	整形外科
Matrix Biol. 31(6): p352- 359, 2012	Conditional deletion of Tgfr2 in hypertrophic chondrocytes delays terminal chondrocyte differentiation	Sueyoshi	整形外科
PLoS One. 7(5): pe37163, 2012	Stromal cell-derived factor 1 regulates the actin organization of chondrocytes and chondrocyte hypertrophy	Murata K	整形外科
Spine. 37(19): pE1197- 1202, 2012	Does the formation of vertebral endplate cysts predict nonunion after lumbar interbody fusion?	Fujibayashi S	整形外科
Surg Radiol Anat. 34(1): p49-56, 2012	Fiber components of the shoulder superior labrum	Arai R	整形外科
中部整災誌. No55(5): p1077-1078	中高年の膝大腿骨特発性骨壊死に対する自家骨軟骨移植術の治療成績	原田豪人	整形外科
日本マイクロサージャ リー学会会誌. No25(1): p43-47	下行膝動脈を血管茎とする大腿骨内顆骨移植の成績	太田壮一	整形外科
Journals of Affective Disorders 136(3): 1039-1046, 2012	Corticolimbic balance shift of regional glucose metabolism in depressed patients treated with ECT.	Taro Suwa	精神科神経科
International Journal of Oral & Maxillofacial Surgery 2012 Nov;41(11):1397-403	Incidence of osteonecrosis of the jaw after tooth extraction in patients treated with bisphosphonates: a cohort study	Yamazaki T	歯科口腔外科
Bone 2012 Nov;51(5):882-7	Risk of osteomyelitis of the jaw induced by oral bisphosphonates in patients taking medications for osteoporosis: A hospital-based cohort study in Japan	Yamazaki T	歯科口腔外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Tissue Engineering Part A. 2012 Apr;18(7-8):768-74	Magnesium calcium phosphate as a novel component enhances mechanical/physical properties of gelatin scaffold and osteogenic differentiation of bone marrow mesenchymal stem cells.	Hussain A	歯科口腔外科
Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine 2012 Sep 4	Magnesium Calcium Phosphate / β -tricalcium Phosphate Incorporation into Gelatin Scaffold: An in Vitro Comparative Study	Hussain A	歯科口腔外科
Oral Diseases 2012 Jun 28	Phenotypes of CEBPB Deficiency: Supernumerary Teeth and Elongated Coronoid Process.	Huang B	歯科口腔外科
The Angle Orthodontist 2013 May;83(3):527-32	Assessing anteroposterior basal bone discrepancy with the Dental Aesthetic Index	Huang B	歯科口腔外科
Journal of dental research 92(1):58-64. 2013	The Effects of G-type Natriuretic Peptide on Craniofacial Skeletogenesis	N a k a o K	歯科口腔外科
Stem Cells Development 22(1):102-113. 2013	Human induced pluripotent stem cells differentiated into chondrogenic lineage via generation of mesenchymal progenitor cells. Stem Cells	Koyama N	歯科口腔外科
Biomed Res Int. doi: 10.1155/2013/685308. Epub 2012 Dec 4.	Microenvironment and radiation therapy	Yoshimura, M.	放射線治療科
Annals of Nuclear Medicine. 2013 Apr;27(3):279-84.	Pharmacokinetic model of myocardial ^{99m}Tc -sestamibi washout	Watanabe T.	放射線治療科
Radiol Phys Technol. 2013 Jan;6(1):157-61.	A feasibility study on reduction of the entrance-surface dose to neonates by use of a new digital mobile X-ray system	Utsunomiya S.	放射線治療科
J Radiat Res. 2013 Mar 1;54(2):337-43.	Differences in the dose-volume metrics with heterogeneity correction status and its influence on local control in stereotactic body radiation therapy for lung cancer	Ueki N.	放射線治療科
Med Phys. 2013 Feb;40(2):021701.	Interfractional dose variations in the stomach and the bowels during breathhold intensity-modulated radiotherapy for pancreatic cancer: Implications for a dose-escalation strategy	Nakamura A.	放射線治療科
J Radiat Res. 2013 Mar 1;54(2):330-6.	Feasibility evaluation of a new irradiation technique: three-dimensional unicursal irradiation with the Vero4DRT (MHI-TM2000)	Mizowaki T.	放射線治療科
J Radiat Res. 2013 May;54(3):561-8.	Guidelines for respiratory motion management in radiation therapy	Matsuo Y.	放射線治療科
Med Dosim. 2013 Spring;38(1):95-9.	Differences in dose-volumetric data between the analytical anisotropic algorithm and the x-ray voxel Monte Carlo algorithm in stereotactic body radiation therapy for lung cancer	Mampuya W. A.	放射線治療科
J Neurooncol. 2012 Sep;109(2):425-32.	Outcomes of hypofractionated stereotactic radiotherapy for metastatic brain tumors with high risk factors	Ogura K.	放射線治療科
J Radiat Res. 2012 Sep;53(5):777-84.	Dosimetric evaluation of the impacts of different heterogeneity correction algorithms on target doses in stereotactic body radiation therapy for lung tumors	Narabayashi M.	放射線治療科
Med Phys. 2012 Oct;39(10):6287-96.	Positional accuracy of novel x-ray-image-based dynamic tumor-tracking irradiation using a gimbaled MV x-ray head of a Vero4DRT (MHI-TM2000)	Mukumoto N.	放射線治療科
J Radiat Res. 2012 Jul;53(4):608-14.	Surveillance on interfacility differences in dose-prescription policy of intensity-modulated radiation therapy plans for prostate cancer	Mizowaki T.	放射線治療科
Med Phys. 2012 Oct;39(10):6309-15.	Optimization of the x-ray monitoring angle for creating a correlation model between internal and external respiratory signals	Akimoto M.	放射線治療科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Magn Reson Imaging. 2013 Feb;37(2):249-64.	Advanced MRI in malignant neoplasms of the uterus.	Kido A	放射線診断科
Eur J Radiol. 2013 Mar;82(3):459-63.	"Early esophageal rim enhancement": a new sign of esophageal cancer on dynamic CT.	Umeoka S	放射線診断科
Eur J Radiol. 2013 Mar;82(3):453-8.	Comparison of acquired diffusion weighted imaging and computed diffusion weighted imaging for detection of hepatic metastases.	Shimizu H	放射線診断科
Nihon Rinsho. 2012 Jun;70 Suppl 4:377-80.	Diagnostic imaging of the endometrial carcinoma.	Kido A	放射線診断科
J Nucl Med. 2012 Oct;53(10):1534-42.	Clinical performance of 2 dedicated PET scanners for breast imaging: initial evaluation.	Iima M	放射線診断科
Eur Radiol. 2013 Jan;23(1):3-11.	Anterior temporal lobe white matter abnormal signal (ATLAS) as an indicator of seizure focus laterality in temporal lobe epilepsy: comparison of double inversion recovery, FLAIR and T2W MR imaging.	Morimoto E	放射線診断科
Clin Nucl Med. 2012 Jul;37(7):656-62.	Roles and limitations of FDG PET in pediatric non-Hodgkin lymphoma.	Nakatani K	放射線診断科
J Magn Reson Imaging. 2012 Aug;36(2):454-8.	Estimation of the timing of carotid artery flow using peripheral pulse wave-gated MRI.	Fushimi Y	放射線診断科
Cerebrovasc Dis. 2013;36:155-157	Rapid Progression of Unilateral Moyamoya Disease in a Patient with a Family History and an RNF213 Risk Variant.	Mineharu Y,	脳神経外科
Curr Opin Anaesthesiol. 2012 Oct;25(5):533-9	Epilepsy surgery: surgical aspects.	Kunieda T	脳神経外科
Neurosurgery. 2012 Jun;70(6):1534-43; discussion 1543	Regression of intracranial aneurysms by simultaneous inhibition of nuclear factor- κ B and Ets with chimeric decoy oligodeoxynucleotide treatment.	Aoki T	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2013;53(3):192-5.	Successful flow reduction treatment for a middle cerebral artery aneurysm in a patient with systemic lupus erythematosus.	Takemoto K	脳神経外科
Neuropsychologia. 2013 Apr;51(5):1011-7	Pre-SMA actively engages in conflict processing in human: a combined study of epicortical ERPs and direct cortical stimulation.	Usami K	脳神経外科
Ann Plast Surg 65: 857- 853, 2012.	Open Rhinoplasty using Conchal Cartilage during Childhood to Correct Unilateral Cleft Lip Nasal Deformities.	Masuoka, H	形成外科
Am J Transl Res 2012;4(1):52-59.	An exploratory clinical trial for combination wound therapy with a novel medical matrix and fibroblasts growth factor in patients with chronic skin ulcers: a study protocol.	Morimoto N	形成外科
Ann Plast Surg. 69:569- 574, 2012.	Efficacy of novel collagen/gelatin scaffold sustained release of basic fibroblast growth factor for dermis-like tissue regeneration.	Kanda, N.	形成外科
J Orthop Sci. 2012 May;17(3):272-80. Epub 2012 Mar 20	A feasibility study for evaluation of mechanical properties of articular cartilage with a two-electrode electric impedance method.	Morita Y	形成外科
J. Hand Surg-Am. 2012 Jul;37(7):1335-41. Epub 2012 Apr 25	Biomechanical Differences of the Volar Plate of the Proximal Interphalangeal Joint between Active and Passive Motion: A Dynamic Ultrasonographic Study, Part 2.	Saito, S	形成外科
Int Wound J 2012; doi: 10.1111/j.1742- 481X.2012.01064.	An exploratory clinical study on the safety and efficacy of an autologous fibroblast-seeded artificial skin cultured with animal product-free medium in patients with diabetic foot ulcers.	Morimoto N	形成外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
呼吸と循環 60:1172-1180	Current Opinion 低侵襲弁膜症治療 - TAVRを中心に	丸井 晃	心臓血管外科
臨床評価 40 (Suppl XXXI):178-181	ライフサイエンス・イノベーション 生まれ変わる日本の大学像 新規医療技術開発の法的・制度的枠組み II. 高度医療から保険医療へ事例紹介 bFGF徐放化ゼラチンハイドロゲルによる心血管再生	坂田隆造	心臓血管外科
循環器内科 72:77-84	心臓・血管リモデリングからみた循環器疾患 左室形成術と心臓リモデリング	南方謙二	心臓血管外科
胸部外科 65:621-624	合併症を有する胸部外科手術 低肺機能合併例の手術適応と周術期管理	村中弘之	心臓血管外科
消化器外科 35:842-845	術前・術後管理必携 術後合併症とその管理 循環器系 術後急性心不全	船本成輝	心臓血管外科
再生医療 Vol. 11/No. 4: p56-62	純化心血管系細胞の再構成による多能性幹細胞由来細胞シートは心筋細胞を介する血管新生により梗塞心の機能を回復させる	升本 英利	心臓血管外科
日本血管外科学会雑誌 21:308-311	弁間線維体の高度石灰化を伴う大動脈弁狭窄症、僧帽弁狭窄兼閉鎖不全症に対して2弁置換術を施行した1例	船本成輝	心臓血管外科
心臓外科Knack & Pitfalls 冠動脈外科の要点と盲点第2版 序文	「冠動脈外科の要点と盲点 (第2版)」	坂田隆造	心臓血管外科
心臓外科 Knack & Pitfalls 冠動脈外科の要点と盲点第2版 2-4	I 冠血行再建術の現況1. CABGの現況	坂田隆造	心臓血管外科
心臓外科 Knack & Pitfalls 冠動脈外科の要点と盲点第2版 124-128	VI 冠動脈外科のKnack & Pitfalls 1. グラフトの選択	南方謙二	心臓血管外科
心臓外科 Knack & Pitfalls 冠動脈外科の要点と盲点第2版 278-283	VIII 冠疾患合併症治療のKnack & Pitfalls 4. 虚血性僧帽弁閉鎖不全症	南方謙二	心臓血管外科
日本循環器学会専門医誌 循環器専門医第20巻第2号 320-323	循環器学2012年の進歩 冠疾患学研究の進歩 - 外科系の進歩 -	南方謙二	心臓血管外科
心不全診療Q&A エキスパート106人からの回答 45-51	I. 心不全とは何か 7. 慢性心不全の非薬物療法 B. 外科的治療	船本成輝	心臓血管外科
循環器疾患最新の治療 405-411	XII大動脈疾患 4胸部大動脈瘤	丸井 晃	心臓血管外科
胸部外科66:17-23	重症心不全に対する外科治療 機能性僧帽弁閉鎖不全症に対する左室形成術の適応と限界	船本成輝	心臓血管外科
日本心臓血管外科学会雑誌 2013;Vol. 42No. 1:16-22	エビデンスに基づく至適冠血行再建—CREDO— Kyotoからの検証—	丸井 晃	心臓血管外科
遺伝子医学MOOK別冊 ここまで広がるドラッグ徐放技術の最前線-古くて新しいドラッグデリバリーシステム(DDS)- 143-147 (株)メディカル ドゥ 2013年3月20日発行	第2章 徐放技術の医療応用3. 再生治療2) 血管	丸井 晃	心臓血管外科
Annual Review循環器2013 VII. 心血管外科 248-254	HOcmIに対する心筋切除術	南方謙二	心臓血管外科
増刊号 血管炎 - 基礎と臨床のクロストーク - VII. 血管炎の血管新生療法と免疫療法 71:464-469	生体吸収性ゼラチンハイドロゲルを用いた血管新生療法	丸井 晃	心臓血管外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
今日の循環器疾患治療指針 第3版 492-495	第8章弁膜疾患 弁膜疾患の外科治療	坂田隆造	心臓血管外科
最新 内分泌代謝学287-289	心臓手術と内分泌代謝疾患 最新 内分泌代謝学 第5章心臓と腎臓の内分泌代謝	山崎和裕	心臓血管外科
最新 内分泌代謝学563-289	糖尿病合併症と心臓血管外科治療	南方謙二	心臓血管外科
Circulation 126:S151-7	Benefits of off - pump coronary artery bypass grafting in high - risk patients: A propensity - score analysis.	Marui A	心臓血管外科
Am J Cardiol 110:1773-1778	Comparison of Frequency of Postoperative Stroke in Off - Pump Coronary Artery Bypass Grafting versus On - Pump Coronary Artery Bypass Grafting versus Percutaneous Coronary	Marui A	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg 60:744-755	Cardiovascular surgery for realization of regenerative medicine	Masumoto H	心臓血管外科
J Cardiol 59:275-284	Impact of diabetes mellitus on outcomes in Japanese patients undergoing coronary artery bypass grafting.	Minakata K	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg 60:297-301	Advanced effusive - constrictive pericarditis rescued by the aggressive waffle procedure.	Yamazaki K	心臓血管外科
Stem Cells 30:1196-1205	Pluripotent stem cell - engineered cell sheets reassembled with defined cardiovascular populations ameliorate reduction in infarct heart function through cardiomyocyte - mediated neovascularization.	Masumoto H	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg 144:1399-1403	A novel detachable filter to prevent thromboembolism during endovascular surgery.	Uehara K	心臓血管外科
Eur J Cardiothorac Surg 41:94-101	Significance of off - pump coronary artery bypass grafting compared with percutaneous coronary intervention: a propensity score analysis.	Marui A	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg 61:61-66	Perioperative control of blood glucose level in cardiac surgery	Minakata K	心臓血管外科
J Enzyme Inhib Med Chem 28:143-7	Protective effect of cardioplegia with poly (ADP-ribose) polymerase-1 inhibitor against myocardial ischemia-reperfusion injury: in vitro study of isolated rat heart model.	Yamazaki K	心臓血管外科
World Journal of Cardiovascular Surgery 3:8-14	Ventricular Approach for Functional Mitral Regurgitation in Cardiomyopathy.	Minakata K	心臓血管外科
Inflammation and Regeneration 33(2):114-20	Strategies in cell therapy for cardiac regeneration.	Masumoto H	心臓血管外科
Sleep Breath 2013; 17:753-761.	Measurement of dyspnea in patients with obstructive sleep apnea.	Aihara K	呼吸管理睡眠制御学講座
Sleep Breath 2013; 17:597-604.	Analysis of systemic and airway inflammation in obstructive sleep apnea.	Aihara K	呼吸管理睡眠制御学講座
Respir Med 2013; 107:745-752.	The prognostic value of HRCT in myositis-associated interstitial lung disease.	Tanizawa K	呼吸管理睡眠制御学講座
Chest 2013; 143:720-728.	Association between sleep apnea, sleep duration and serum lipid profile in an urban male working population in Japan.	Toyama YKadotani H.	呼吸管理睡眠制御学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Sleep 2013; 36:229-236.	Flexible positive airway pressure improves treatment adherence compared with auto-adjusting PAP.	Chihara Y	呼吸管理睡眠制御学講座
PLoS One 2013; 8:e54184.	Association between plasma neutrophil gelatinase associated lipocalin level and obstructive sleep apnea or nocturnal intermittent hypoxia.	Murase K	呼吸管理睡眠制御学講座
Liver Transpl 2012; 18:1217-1225.	Use of noninvasive ventilation for pediatric patients after liver transplantation: decrease in the need for reintubation.	Murase K	呼吸管理睡眠制御学講座
Respir Res 2012; 13:85.	Analysis of longitudinal changes in dyspnea of patients with chronic obstructive pulmonary disease: an observational study.	Oga T	呼吸管理睡眠制御学講座
Intern Med 2012; 51:2453-2456.	Transient increase in epileptiform discharges after the introduction of nasal continuous positive airway pressure in a patient with obstructive sleep apnea and epilepsy.	Hitomi T	呼吸管理睡眠制御学講座
Intern Med 2012; 51:2291-2297.	Relationships of decreased lung function with metabolic syndrome and obstructive sleep apnea in Japanese males.	Yoshimura C	呼吸管理睡眠制御学講座
J Sleep Res 2012; 21:410-418.	Differences in relationships among sleep apnoea, glucose level, sleep duration and sleepiness between persons with and without type 2 diabetes.	Harada Y	呼吸管理睡眠制御学講座
Sleep Breath 2012; 16:473-481.	Analysis of anatomical and functional determinants of obstructive sleep apnea.	Aihara K	呼吸管理睡眠制御学講座
Sleep Breath 2012; 16:11-15.	Impact of nasal continuous positive airway pressure for congenital adrenal hyperplasia with obstructive sleep apnea and bruxism.	Hamada S	呼吸管理睡眠制御学講座
Sleep Med 2012; 13:321. (letter)	Beneficial effects of continuous positive airway pressure therapy in a pediatric intestinal transplant recipient with obstructive sleep apnea.	Tanizawa K	呼吸管理睡眠制御学講座
BMC Infectious Diseases, 2013:13:247.	Clinical characteristics and risk factors of non-Candida fungaemia.	山本正樹	検査部・感染制御部
臨床病理, 2012 60:1070-4.	Evaluation of a UF-1000i screening method to identify the bacteriuria for cultures and susceptibility testing.	安間恵子	検査部・感染制御部
Clinical Microbiology and Infection, 2013:19:729-36.	Regional dissemination of Acinetobacter species harbouring metallo- β -lactamase genes in Japan.	山本正樹	検査部・感染制御部
Journal of Antimicrobial and Chemotherapy, 2012:67:2612-20.	Emergence and spread of B2-ST131-025b, B2-ST131-016 and D-ST405 clonal groups among extended-spectrum- β -lactamase-producing Escherichia coli in Japan.	松村康史	検査部・感染制御部
International Journal of Antimicrobial Agents, 2012:40:158-62.	Prevalence of plasmid-mediated AmpC β -lactamase-producing Escherichia coli and spread of the ST131 clone among extended-spectrum β -lactamase-producing E. coli in Japan.	松村康史	検査部・感染制御部
Modern Rheumatology, 2013:23:345-50.	Risk factors associated with elevated blood cytomegalovirus pp65 antigen levels in patients with autoimmune diseases.	長尾美紀	検査部・感染制御部
Diagnostic Microbiology and Infect Diseases, 2012:73:149-52.	Clinical characteristics and risk factors of ocular candidiasis.	長尾美紀	検査部・感染制御部
Clinical Microbiology and Infection, 2013:19:161-8.	Molecular and clinical characterization of plasmid-mediated AmpC β -lactamase-producing Escherichia coli bacteraemia: a comparison with extended-spectrum β -lactamase-producing and non-resistant E. coli bacteraemia.	松村康史	検査部・感染制御部
European Journal of Clinical Microbiology and Infectious Diseases, 2012:31:1095-100.	Cefotaxime for the detection of extended-spectrum β -lactamase or plasmid-mediated AmpC β -lactamase and clinical characteristics of cefotaxime-non-susceptible Escherichia coli and Klebsiella pneumoniae bacteraemia.	松村康史	検査部・感染制御部

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Journal of Infection and Chemotherapy, 2012:18:390-4.	Disseminated Nocardia farcinica infection in a patient with myasthenia gravis successfully treated by linezolid: a case report and literature review.	長尾美紀	検査部・感染制御部
Clinical Microbiology and Infection, 2013:19:852-8.	A multicentre analysis of epidemiology of the nosocomial bloodstream infections in Japanese university hospitals	長尾美紀	検査部・感染制御部
Journal of Antimicrobial and Chemotherapy, 2012:67:2110-3.	Molecular characterization of IMP-type metallo- β -lactamases among multidrug-resistant <i>Achromobacter xylosoxidans</i> .	山本正樹	検査部・感染制御部
Clinical Microbiology and Infection, 2012:18:591-7.	Quantitative real-time PCR and the (1 \rightarrow 3)- β -D-glucan assay for differentiation between <i>Pneumocystis jirovecii</i> pneumonia and colonization.	松村康史	検査部・感染制御部
European Journal of Clinical Microbiology and Infectious Diseases, 2012:31:1095-100.	Regional spread and control of vancomycin-resistant <i>Enterococcus faecium</i> and <i>Enterococcus faecalis</i> in Kyoto, Japan.	松島晶	検査部・感染制御部
PLoS One, 8(1):e54862, 2013.	CREBs are involved in 'emergency' granulopoiesis through upregulation of C/EBP β .	Hirai H	輸血細胞治療部
J Immunol 189(9):4546-4555, 2012.	C/EBP β is involved in the amplification of early granulocyte precursors during candidemia-induced 'emergency' granulopoiesis.	Satake S	輸血細胞治療部
Leukemia, 27(3):619-628, 2013.	C/EBP β promotes BCR/ABL-mediated myeloid expansion and leukemic stem cell exhaustion.	Hayashi Y	輸血細胞治療部
J Immunol, 191(3):1073-1081, 2013.	Myeloid-derived suppressor cells play crucial roles in the regulation of mouse collagen-induced arthritis.	Fujii W	輸血細胞治療部
J Am Heart Assoc. 2012;1(6):e003376.	MicroRNA-33 deficiency reduces the progression of atherosclerotic plaque in ApoE $^{-/-}$ mice.	Horie T	探索医療センター臨床部
医療薬学, 38(4):258-264, 2012	オキシドン併用がワルファリン服用がん患者のプロトロンビン時間に及ぼす影響	細川実緒	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌, 48(6):719-723, 2012	ベメトレキセド単独療法の血液毒性に及ぼす腎機能の影響	辻井聡容	薬剤部
医療薬学, 38(7):423-434, 2012	治験薬GMPIに基づいた臨床試験院内無菌製剤室の設置と適合性評価	岡真千子	薬剤部
皮膚の科学, 11(4):319-322, 2012	下痢時の臀部皮膚保護剤としてのCMC含有軟膏の使用経験	佐藤栄里子	薬剤部
法医学の実際と研究, 55:215-221, 2012	抗ヒトケラチン抗体を用いた浴槽内溺水診断の検討	大村友博	薬剤部
法医学の実際と研究, 55:285-294, 2012	北海道の死因究明制度の将来—フィンランドの死因究明制度に学ぶ	大村友博	薬剤部
Am J Physiol Renal Physiol, 302(12):F1640-1649, 2012	Developmental expression of renal organic anion transporters in rat kidney and its effect on renal secretion of phenolsulfonphthalein.	野村麻貴	薬剤部
Biomed Chromatogr, 26(12):1519-1528, 2012	Detection of 22 antiepileptic drugs by ultra-performance liquid chromatography coupled with tandem mass spectrometry applicable to routine therapeutic drug monitoring.	柴田茉衣	薬剤部
Support Care Cancer, 20:2017-2024, 2012	Degree of freezing does not affect efficacy of frozen gloves for prevention of docetaxel-induced nail toxicity in breast cancer patients	矢野育子	薬剤部

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Cancer Chemother Pharmacol, 70: 399-405, 2012	Cerebrospinal fluid concentration of gefitinib and erlotinib in patients with non-small cell lung cancer.	増田智先	薬剤部
Eur J Pharmacol, 696(1-3): 143-154, 2012	Involvement of autophagy in the pharmacological effects of the mTOR inhibitor everolimus in acute kidney injury.	中川俊作	薬剤部
J Inherit Metab Dis, 35(6): 943-948, 2012	Impaired riboflavin transport due to missense mutations in SLC52A2 causes Brown-Vialetto-Van Laere syndrome.	八尾祉顕	薬剤部
Drug Metab Pharmacokin, 27(6): 563-569, 2012	Renal tubular secretion of varenicline by multidrug and toxin extrusion (MATE) transporters.	梶原望渡	薬剤部
Drug Metab Pharmacokin, 27(6): 631-639, 2012	Impact of genetic variation in breast cancer resistance protein (BCRP/ABCG2) on sunitinib pharmacokinetics.	水野知行	薬剤部
Biochem Pharmacol, 85(4): 570-582, 2013	Urinary chemokine (C-C motif) ligand 2 (monocyte chemoattractant protein-1) as a tubular injury marker for early detection of cisplatin-induced nephrotoxicity.	西原久美子	薬剤部
Biochem Biophys Res Commun, 432(4): 689-694, 2013	Sodium tauroursodeoxycholate prevents paraquat-induced cell death by suppressing endoplasmic reticulum stress responses in human lung epithelial A549 cells.	大村友博	薬剤部
Br J Pharmacol, 166(3): 1183-1191, 2012	Loss of multidrug and toxin extrusion 1 (MATE1) is associated with metformin-induced lactic acidosis.	遠山佳奈	薬剤部
Arthritis Res Ther 14:R86, 2012	Serum BAFF and APRIL levels in patients with IgG4-related disease and their clinical significance.	Kiyama	リウマチ性疾患制御学講座
Mod Rheumatol 22:382-393, 2012	Effects of intravenous immunoglobulin therapy in Japanese patients with polymyositis and dermatomyositis resistant to corticosteroids: a randomized double-blind placebo-controlled trial.	Miyasaka	リウマチ性疾患制御学講座
Ann Rheum Dis 71:1820-1826, 2012	Drug retention rates and relevant risk factors for drug discontinuation due to adverse events in rheumatoid arthritis patients receiving anticytokine therapy with different target molecules.	Sakai	リウマチ性疾患制御学講座
Mod Rheumatol 22:712-719, 2012	Therapeutic response of patients with adult Still's disease to biologic agents: multicenter results in Japan.	Suematsu	リウマチ性疾患制御学講座
Arthritis Res Ther 64:1125-1134, 2012	Time-dependent increased risk for serious infection from continuous use of tumor necrosis factor antagonists over three years in patients with rheumatoid arthritis.	Sakai	リウマチ性疾患制御学講座
Rheumatology International 32(12):3869-74, 2012	Objective assessment of abnormal gait in patients with rheumatoid arthritis using a smartphone.	Yamada	リウマチ性疾患制御学講座
Arthritis Rheum 64:1024-1034, 2012	Lectin-like oxidized LDL receptor-1 signal is a potent biomarker and therapeutic target for human rheumatoid arthritis.	Ishikawa	リウマチ性疾患制御学講座
Telemedicine and E-health 18:292-296, 2012	Nishiguchi S, Yamada M, Nagai K, Mori S, Kajiura Y, Sonoda T, Yoshimura K, Yoshitomi H, Ito H, Okamoto K, Ito T, Muto S, Ishihara T, Aoyama T: Reliability and validity of	Nishiguchi	リウマチ性疾患制御学講座
Hip Int. 22(5): p521-526, 2012	Effects of vertical motion of the centre of mass on walking efficiency in the early stages after total hip arthroplasty	Nankaku M	リハビリテーション科

小計
17
計
434

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 三嶋 理晃	
管理担当者氏名	薬剤部長 松原 和夫 医務課長 中村 正次 医療サービス課長 恒吉 祐治 感染制御部長 一山 智	総務課長 伊野 哲也 医療安全管理室長 松村 由美 医療情報企画部長 黒田 知宏 医療器材部長 上本 伸二

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録		各診療科 及び 医務課	<ul style="list-style-type: none"> ・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管している。 ・2005年に電子カルテを導入しており、それ以前の紙カルテについては20年の保存期間を設けて病歴管理室にて保管している。また、紙媒体で生成される各種検査資料及び同意書等については、原則、電子印章付きのスキヤナで取り込み、電子データを原本として電子カルテに保存している。 ・画像フィルムは、2013年4月に全てのモダリティのフィルムレス化を実施しており、それ以降、原則、現物保管はしていない。なお、フィルムレス化以前のフィルムについては、5年の保存期間を設けて病歴管理室にて保管している。
各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			
エックス線写真			
処方せん		薬剤部	
病院日誌		総務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の実績	医務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部	

(様式第12)

		保 管 場 所	管 理 方 法
掲 規 則 第 一 条 の 確 保 の 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

(様式第12)

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療器材部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療器材部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療器材部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療器材部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 加藤 健
閲覧担当者氏名	総務課長 伊野 哲也
閲覧の求めに応じる場所	総務課内

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	77.6 %	算定期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	14,174人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,709人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,256人	
	D: 初診の患者の数	23,560人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1. 病院の基本理念</p> <p>2. 院内の責任体制及び管理体制の明確化</p> <p>3. 安全管理のための各種委員会の設置及びリスクマネージャーの配置並びに医療安全管理室の設置</p> <p>4. 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策</p> <p>5. 医療事故発生時における対応について</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1. 医療事故を防止する方策の検討及び実施</p> <p>2. 医療事故防止マニュアル等の策定・改善・普及等</p> <p>3. 発生した医療事故又は発生する危険のあった医療事故等に関する情報収集及び分析並びに防止のための改善策の検討・実施</p> <p>4. 医療事故防止のための研修・講習・教育等の実施</p> <p>5. 重要事例の対応決定</p> <p>6. その他医療事故の防止に関する全般事項</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 45 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【全職種対象】</p> <p>○ 平成24年4月12日 「1. 薬剤オーダーを安全に行うために」 「2. 薬剤部でミキシングを行う注射オーダーのために」 講師 薬剤部薬品情報掛長 土生康司・副部長 小林政彦 参加人数 193 名</p> <p>○ 平成24年4月18日 「みんなで取り組む院内感染対策と医療安全」 講師 副病院長 一山 智 参加人数 693 名</p> <p>○ 平成24年5月11日 「医療の質の向上を目指して 医療被害者の救済活動から見えてくるもの」 講師 栄法律事務所 弁護士 加藤 良夫氏 参加人数 366 名</p> <p>○ 平成24年6月6日 「みんなで取り組む院内感染対策と医療安全」 講師 副病院長 一山 智 参加人数 311 名</p> <p>○ 平成24年6月26日 「心的外傷後ストレス障害 (PTSD) とは？こころのケアを考える」 講師 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 成人精神保健研究部 部長 金 吉晴 参加人数 361 名</p> <p>○ 平成24年7月4日 医療安全に関するDVD上映会 参加人数 72 名</p> <p>○ 平成24年7月6日 医療安全に関するDVD上映会 参加人数 58 名</p> <p>○ 平成24年7月10日 医療安全に関するDVD上映会 参加人数 59 名</p> <p>○ 平成24年7月13日 「患者対応について～本院事例から学ぶ2012～」 講師 医療サービス課 参加人数 259 名</p> <p>○ 平成24年7月24日 「血液浄化について一指示の観点から」 講師 腎臓内科 准教授 塚本 達雄 参加人数 168 名</p> <p>○ 平成24年8月2日 「納得の医療とは～医療紛争は避けることができるか～」 講師 医療安全管理室 室長 松村 由美 参加人数 210 名</p> <p>○ 平成24年9月6日 「ノンテクニカルスキル：コミュニケーション技術の向上」 講師 看護部 副部長 山中 寛恵 参加人数 213 名</p> <p>○ 平成24年9月12日 「本院における臨床工学技士の体制について」 講師 本院医療器材部 助教 山崎和裕 参加人数 128 名</p> <p>○ 平成24年10月10日 「麻薬取扱いを安全に行うために」 「麻薬等を用いた疼痛コントロールを適正に行うために」 講師 1. 薬剤部 麻薬主任 岡村みや子 2. 薬剤部 薬品情報主任 土生康司 参加人数 255 名</p>	

(様式第13-2)

○	平成24年10月12日	「Healthcare as a Team Sport: Creating quality care through TeamSTEPS」							
	講師	ミネソタ大学 准教授 カリン・バウム		参加人数	131	名			
○	平成24年10月17日	「医療事故の本質：告知の技術を日常に」							
	講師	日本医科大学付属病院 がん診療センター 部長 久保田馨		参加人数	153	名			
○	平成24年11月12日	「除細動とバイフェージックの有用性」							
		「AED概要」							
		「シュミレーターを用いた、除細動、AED体験」							
	講師	1. フクダ電子株式会社 クリティカルケア営業部 茅山 緑紀		参加人数	193	名			
		2. 初期診療・救急科医師							
		3. 茅山 緑紀、初期診療・救急科医師、山崎 和裕							
○	平成24年11月19日	医療安全に関するDVD上映会		参加人数	83	名			
○	平成24年11月22日	医療安全に関するDVD上映会		参加人数	75	名			
○	平成24年11月26日	「転倒転落の現状」							
		「転倒予防は説明しだい：履き物への意識」							
	講師	1. 安全管理室 専任看護師長 辻田麻衣子		参加人数	104	名			
		2. 医学研究科人間健康科学系専攻 教授 若村智子							
○	平成24年11月30日	医療安全に関するDVD上映会		参加人数	79	名			
○	平成24年12月5日	「Sorry Works!の始まり（情報開示のありかた）」							
	講師	医療安全管理室 室長 松村由美		参加人数	17	名			
○	平成24年12月13日	「人工呼吸器講習会：安全管理の観点から見直す基礎知識」							
	講師	コヴィディエン ジャパン株式会社レスピラトリー事業部		参加人数	166	名			
		クリニカルサポート部 丸林 美起							
○	平成24年12月20日	「「すみません」とは何であり、また何でないか？」							
	講師	医療安全管理室 室長 松村由美		参加人数	47	名			
○	平成25年1月7日	「みんなで取り組む院内感染対策と医療安全 Ver. 2」							
	講師	副病院長 一山 智		参加人数	217	名			
○	平成25年1月8日	「CHDFのオーダーについて」							
		「トラブルシューティング」							
	講師	腎臓内科 准教授 塚本達雄		参加人数	97	名			
		人工腎臓部 臨床工学技士 安馬雅範							
○	平成25年1月11日	「Sorry Worksはなぜ役に立つのか」							
	講師	医療安全管理室 室長 松村由美		参加人数	25	名			
○	平成25年1月22日	「輸液ポンプに関する講習会」							
	講師	テルモ株式会社 京都支店 医療機器担当 堅田 賢司		参加人数	108	名			
○	平成25年1月24日	「医療事故の対応プロセス」							
	講師	医療安全管理室 室長 松村由美		参加人数	23	名			
○	平成25年2月2日	「実践ブタ摘出肺を用いた人工呼吸管理」							
	講師	CEO野口企画 野口裕幸 東京女子医科大学 東医療センター 佐藤敏郎		参加人数	44	名			
○	平成25年2月8日	メディエーション講習会							
	講師	きりん司法書士事務所 司法書士 浅井健		参加人数	24	名			
○	平成25年2月20日	「『Sorry Works! プログラムを実施するための5つのステップ」							
	講師	医療安全管理室 室長 松村由美		参加人数	20	名			
○	平成25年3月14日	「患者とその家族にどうやって謝罪するか」							
	講師	医療安全管理室 室長 松村由美		参加人数	23	名			
○	平成25年3月13日	医療安全に関するDVD上映会		参加人数	34	名			
○	平成25年3月14日	「納得のいく医療とは～医事紛争を避けるために～」		参加人数	40	名			
		「何よりも手指で拡がる耐性菌～標準予防策と手指衛生～」							
	講師	1. 医療安全管理室 室長 松村由美							

(様式第13-2)

2. 感染制御部 副部長 高倉俊二

【医師対象】

○研修医内定者オリエンテーション

- ・平成24年4月2日 講師：松村医療安全管理室長 参加人数：136名

【看護師対象】

○看護部新規採用者オリエンテーション

- ・平成24年4月3日 講師：辻田看護師長 参加人数：138名

○中途採用者研修

- ・平成24年5月1日 講師：辻田看護師長 参加人数：3名
- ・平成24年6月1日 講師：辻田看護師長 参加人数：2名
- ・平成24年7月2日 講師：辻田看護師長 参加人数：1名
- ・平成24年8月1日 講師：辻田看護師長 参加人数：1名
- ・平成24年9月3日 講師：辻田看護師長 参加人数：5名
- ・平成24年10月1日 講師：辻田看護師長 参加人数：6名
- ・平成24年11月1日 講師：辻田看護師長 参加人数：1名
- ・平成24年12月3日 講師：辻田看護師長 参加人数：1名

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無)

・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業
2. 安全に関する部門連携・委員会活動
 - ・医療安全管理委員会の定期開催
 - ・リスクマネージャー会議の定期開催
 - ・多職種間（部門横断的）インシデント検討会の定期開催
 - ・内視鏡室標準化WG、アンギオ室標準化WG等の各種WGの臨時開催
 - ・院内転倒転落事故防止委員会の定期開催
3. 職員への安全教育
 - ・講演会・講習会・DVD上映会・院内事例報告会
 - ・医療安全ニュースの配信

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 (有) (3名) ・無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 (有) (5名) ・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 (有) ・無

・ 所属職員： 専任(3)名 兼任(8)名

・ 活動の主な内容：

1. 医療事故発生時の初動対応と事例調査
2. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業
3. 各部門からのインシデント・アクシデントレポート収集と、サーベイランス・分析・対策立案
4. 医療安全に関する部門連携・委員会活動
5. 職員、学生等への医療安全教育
6. 医療安全における大学間・病院間・地域間連携

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況 (有) ・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況		有 ・ 無	
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容： 感染対策に関する基本方針 感染対策組織の概要 関連委員会及び会議の開催 感染制御部（ICT）の業務内容 教育、サーベイランス等 感染アウトブレイク（集団発生）時の対応 患者等に対する指針の閲覧に関する方針 			
② 院内感染のための委員会の開催状況		年 40 回	
<ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容： 感染症予防対策委員会 1回/月 感染制御部（ICT）会議 2回/月 感染対策業務会議 4回/年 			
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		年 21 回	
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： 			
名称	日時	内容	参加人数
職員対象講習会	平成24年4月2日、4月3日	新規採用者に必要な感染対策の基本的知識・技術を習得する。（感染対策の指針、標準予防策、針刺し防止、血流感染防止）	138名
院内感染対策講習会	平成24年4月18日	『みんなで取り組む院内感染対策と医療安全』	694名
中途採用者オリエンテーション	平成24年5月1日、5月2日、5月7日、5月16日、6月1日、6月4日、6月5日、7月2日、7月3日、7月17日、8月1日、8月3日、9月3日、9月4日、9月5日、10月1日、10月2日、10月3日、11月1日、12月16日、1月4日、2月1日	京大病院の院内感染対策について	43名
職員対象講習会	平成24年5月8日	感染対策のポイント	5名
職員対象講習会	平成24年5月21日	感染管理の基本	36名
職員対象講習会	平成24年5月28日	防護用具着脱勉強会	38名
院内感染対策講習会	平成24年5月29日	『京大病院における感染対策の方針と2012年度の重点項目』	464名
院内感染対策講習会	平成24年6月6日	『みんなで取り組む院内感染対策と医療安全』	311名
ボランティア対象 院内感染対策講習会	平成24年6月7日	感染対策の基本的知識	26名

(様式第13-2)

院内感染対策講習会	平成24年6月26日	『抗菌薬の適正使用について』	235名
院内感染対策講習会	平成24年7月27日	『針刺し・血液曝露の予防策・対処方法について』	230名
職員対象講習会	2012/8/9、8/10	京大病院の感染対策について	63名
院内感染対策講習会	平成24年8月27日	『標準予防策・手指衛生について』	250名
レベルアップ講習会	2012/9/24、9/25、9/26	感染管理	17名
院内感染対策講習会	平成24年9月25日	『当院で問題となっている耐性菌について』	363名
院内感染対策講習会	平成24年11月9日	『HIV-1/エイズ診療の実際』	293名
院内感染対策講習会	平成24年11月15日	『院内における結核対策について』	192名
ベッドサポートスタッフ対象 院内感染対策講習会	平成24年11月25日	感染対策の基本	13名
院内感染対策講習会	平成24年12月11日	『インフルエンザ・感染性胃腸炎について』	140名
院内感染対策講習会	平成25年1月7日	『みんなで取り組む院内感染対策と医療安全 Ver.2』	108名
院内感染対策講習会	平成25年1月21日	『感染対策相互チェックにおける指摘事項』	66名
院内感染対策講習会	平成25年3月14日	『何よりも手指で拡がる耐性菌～標準予防策と手指衛生～』	40名

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無)

・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 感染対策サーベイランスの実施
 - ・ 薬剤耐性菌サーベイランス
 - ・ カテーテル関連血流感染サーベイランス
 - ・ 手術部位感染サーベイランス
 - ・ 感染性胃腸炎サーベイランス
 - ・ 上気道症状サーベイランス
2. 職業感染防止と曝露後の対応
 - ・ 針刺しの原因分析と防止対策
 - ・ 抗体価の確認とワクチン接種
 - ・ 曝露後の対応（血液体液曝露、結核、麻疹、水痘等）

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無																										
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 14 回																										
<p>・ 研修の主な内容： 医薬品での事故防止に係る本院職員の意識改革と安全管理、及び薬剤師としての</p> <p>○ 全職種を対象</p> <p>◆（医薬品安全使用のための研修会） 日時： 平成24年4月12日（木）17:15～（約45分程度） 参加人数：193名</p> <ol style="list-style-type: none"> 『薬剤オーダーを安全に行うために』 講演者：薬剤部 土生康司 薬品情報掛長 『薬剤部でミキシングを行う注射オーダーのために』 講演者：薬剤部 小林政彦 副薬剤部長 <p>◆（医薬品安全使用のための研修会） 日時： 平成24年10月10日（水）17:15～（約45分程度） 参加人数：255名</p> <ol style="list-style-type: none"> 『麻薬取り扱いを安全に行うために』 講演者：薬剤部 麻薬主任 岡村みや子 『麻薬等を用いた疼痛コントロールを適正に行うために』 講演者：薬剤部 薬品情報主任 土生康司 <p>○ 薬剤師を対象</p> <p>◆（医薬品安全使用のための説明会） 新規採用医薬品の説明会を毎月開催し、新規採用医薬品の説明と位置づけ及び添付</p> <table border="1" data-bbox="247 1093 683 1574"> <thead> <tr> <th>開催年月日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成24年4月3日（火）</td><td>42名</td></tr> <tr><td>平成24年5月8日（火）</td><td>42名</td></tr> <tr><td>平成24年6月5日（火）</td><td>44名</td></tr> <tr><td>平成24年7月3日（火）</td><td>51名</td></tr> <tr><td>平成24年8月3日（金）</td><td>38名</td></tr> <tr><td>平成24年9月4日（火）</td><td>34名</td></tr> <tr><td>平成24年10月3日（水）</td><td>22名</td></tr> <tr><td>平成24年11月8日（木）</td><td>32名</td></tr> <tr><td>平成24年11月29日（木）</td><td>29名</td></tr> <tr><td>平成25年1月9日（水）</td><td>26名</td></tr> <tr><td>平成25年2月1日（金）</td><td>29名</td></tr> <tr><td>平成25年3月5日（火）</td><td>32名</td></tr> </tbody> </table>		開催年月日	参加人数	平成24年4月3日（火）	42名	平成24年5月8日（火）	42名	平成24年6月5日（火）	44名	平成24年7月3日（火）	51名	平成24年8月3日（金）	38名	平成24年9月4日（火）	34名	平成24年10月3日（水）	22名	平成24年11月8日（木）	32名	平成24年11月29日（木）	29名	平成25年1月9日（水）	26名	平成25年2月1日（金）	29名	平成25年3月5日（火）	32名
開催年月日	参加人数																										
平成24年4月3日（火）	42名																										
平成24年5月8日（火）	42名																										
平成24年6月5日（火）	44名																										
平成24年7月3日（火）	51名																										
平成24年8月3日（金）	38名																										
平成24年9月4日（火）	34名																										
平成24年10月3日（水）	22名																										
平成24年11月8日（木）	32名																										
平成24年11月29日（木）	29名																										
平成25年1月9日（水）	26名																										
平成25年2月1日（金）	29名																										
平成25年3月5日（火）	32名																										
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務																											
<p>・ 手順書の作成 （有） ・ 無</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用に関すること 2. 医薬品の購入に関すること 3. 薬剤部における医薬品の管理に関すること 4. 病棟・各部門への医薬品の供給に関すること 5. 外来患者への医薬品使用に関すること 6. 病棟における医薬品の管理に関すること 																											

(様式第13-2)

7. 入院患者への医薬品使用に関すること
8. 医薬品の適正使用に関すること
9. 医薬品の安全使用に係る情報に関すること
10. 他施設（医療機関・薬局等）との連携に関すること

以上の業務内容について、平成24年12月27日（木）～平成25年1月9日（水）に手順書に基づく業務の実施状況を調査した。

各病棟における調査者は病棟担当薬剤師と安全管理担当副部長、R I 棟は安全管理担当副部長、薬剤部内の調査者は各部署リーダーとした。

調査結果および改善が必要な点については改善指導等の実施状況を書面で報告してもらい、記録として保存した。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有）・ 無）

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

(1) 院内に新規採用された医薬品について、採用されてから6ヶ月後および1年後に採用依頼医師に「新規採用医薬品副作用予備調査票」を送付・回収し、院内で発生した副作用情報を収集している。

(2) 医療安全管理担当として副薬剤部長1名が兼任し、毎週開催される安全管理ミーティングにて院内の情報を収集、業務改善を協議すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内で警鐘事例を共有している。薬剤業務改善の方策を立てることで医薬品安全使用の質的改善を推進している。

(3) 処方・注射オーダーリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤投与防止機能を運用を含めて修正し、医師の業務負担を軽減し、医療事故を未然に防止すると共に、必要なデータベースを構築し、維持・管理している。

(4) 全職員を対象に、アラートメールを通じた医薬品等安全性情報、緊急安全性情報等の配布、緊急通告や医薬品の採用・削除などの医薬品情報を発信している。

(5) 医師との連携により、外来の院外処方せん交付患者に対して初回投与時の抗がん剤の服薬指導を行い、副作用等の説明及びその対処を指導して、医薬品安全使用を推進している。

(6) 入院患者の持参薬の内容確認を薬剤師が行い、患者と面談して服薬状況等を情報収集するとともに、個々の患者に合わせたより適正な使用となるよう、医師に服薬計画を提案している。

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 44 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年4月に新人看護師及び研修医を対象とした輸液・シリンジポンプの使用 方法について研修を実施 ・ 平成24年度中に計30回、医師・看護師・臨床工学技師を対象として人工呼吸器・ 血液浄化装置・人工心肺装置等の使用方法、安全対策についての研修を実施 ・ 平成24年12月（3回）に医療機器（X線CT装置）新規導入における安全使用の ための従業者に対する研修を実施 ・ 平成24年12月（4回）に医療機器（造影剤インジェクタ）新規導入における 安全使用のための従業者に対する研修を実施 ・ 平成24年9月（1回）・12月（1回）に医療機器（ポータブルフラットパネル システム）新規導入における安全使用のための従業者に対する研修を実施 ・ 平成25年1月（2回）に医療機器（X線血管撮影装置）新規導入における安全 使用のための従業者に対する研修を実施 ・ 平成25年3月（2回）に医療機器（移動型透視装置）新規導入における安全 使用のための従業者に対する研修を実施 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (有 ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 各医療機器の点検周期に沿って臨床工学技師による点検とメーカーによる点検を 実施している。 →臨床工学技師の点検では、バッテリー・各種センサー・フィルター等の定期 交換を実施している。 →高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。 ・ 放射線機器について年度点検実施計画を作成し、各部門担当者を決めて定期的 に点検を実施している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を 目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に関する安全性情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知す る体制をとっている。 	

(様式第13-2)

- ・ 医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の一掃を推し進めている。
- ・ 医療機器関連のインシデント・アクシデント報告の周知と改善策の検討を行っている。
- ・ メーカー及び学会からの安全情報の周知とPMDAの医療機器情報の確認を行っている。
- ・ 医療機器の添付文章の現場確認と電子化を行っている。